

五稜



第 45 号 (平成17年度)

函館市立五稜中学校生徒会

五稜中学校校歌

小島昌平 作詩
酒井武雄 作曲



一
 ひんがしに 古城の
 たなわに 五稜が丘に
 昔の 息吹さきに 海
 水た ふるもまたたけ
 新しき 光に たちて
 大いなる 力 伸べさん

ニ
 さくら花 ーと 仰ぎ
 友がの 堅く 結びて
 うら 鳥より 自主の 鐘の 音
 ひと 心にし まこと 光る 影の
 筆さゆく 理想の 空
 ああ ともに われら 栄えあれ

表紙絵

3年B組 斉藤朱夏

行事から ～Part 1～



「そ～れ！」



長縄跳び



「余裕」



「タイヤリレー」



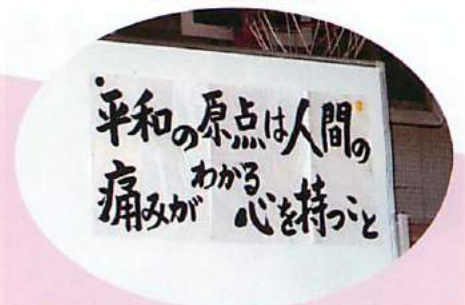
空き缶リサイクル活動



「中体連陸上」



「平和の木」



「被爆体験者講演会」のことばから

行事から ～Part 2～



「中体連壮行式」



「中体連テニス部」



「野 外 劇」



「総合学習」



宿泊研修（グリーンピアにて）



宿泊研修（ホテル）



宿泊研修（体験学習②）



宿泊研修（体験学習①）

修学旅行



「列車の中で②・・・」



「列車の中で①」



「座禅」



「お食事タイム」



「メリーゴーランド」



「船の中で」



ふるさと体験



「あははは。」

文化祭



「合唱コンクール」



「吹奏楽部」



「私の主張」



「けいちゃん&恭ちゃん」



「西村パラダイス」



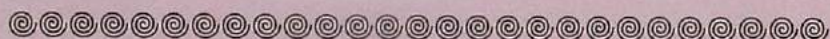
文化祭



「みんなで変顔」



「文化祭、楽しいな♪」



目 次

グラビア写真	
巻 頭 詩	1
困難を光輝ある機会として	校長 畑野 克行 2
思い出 満載 宝ばこ	PTA会長 中谷 直子 3
本との出会い	教頭 中谷 満 3
生徒会テーマ&ポスター	4
生徒会新総務 ～この一年にむけて～	5
生徒会旧総務 ～一年をふりかえって～	7
生徒会一年のあゆみ	9
専門委員会 ～活動報告～	12
卒業生へ贈る言葉	18
卒業生へ贈る ～在校生より～	23
在校生へ贈る ～卒業生より～	24
部 活 動 一年間の活動記録	25
栄誉を讃えて	31
美術作品集	32
思い出をこのページに残して	33
修学旅行	38
宿泊研修	42
「函館を知ろう」調査活動をふりかえって <1年総合>	44
学級プロフィール ～1年～	46
学級プロフィール ～2年～	49
生徒会特集	51
文 苑	54
・私 の 主 張	
・俳 句	
・短 歌	
・川 柳	
教職員名簿	62
編 集 後 記	63

希望の光

三年B組 相田玲歌

明日を見つめた

こわくなった

今日を振り返った

後悔した。

でも昨日を思うと

心が軽くなって

明後日を思うと

希望が見えた。

その希望へ向かうと

光がみえて

光をつかむと

新しい自分に出会えた。



困難を光輝ある機会として

校長 畑野 克行

一月九日、今年も、多くの市町村で成人式が行われました。その夜のテレビは、いつもながら、成人式にふさわしいとは言えない光景を映し出していました。祝辞を述べる市長さんや来賓の方たちに、暴言を吐く、クラッカーを鳴らすなど、その傍若無人ぶりは目に余るものがあります。そこまで酷くなくとも、携帯電話の着メロが至る所で鳴り、私語も途絶えることがありませんでした。

この時期になると、私はいつも「大人って何だろう!」と考えさせられています。福岡県を中心に若者が実行委員会をつくり、成人式に向けて意見交換を行いました。その際出された大人のイメージとは、「責任、義務を果たせる人」、「目的をしっかりとっている人」、「他人への真心、思いやりを大切にできる人」、「他の人、全体のことを考えて行動できる人」、「道徳価値がある人」等、言い方は様々ですが、いずれも心の有様に言及しています。これらは、今教育が目指していることと軌を一にします。

生活を共にする地域集団の中で「一人前の大人」として認められるための儀式は、原始の社会からあり、それは、試練の場であったと言われています。わが国でも、戦前には、若者が親

元を離れて自立的な集団生活を行い、その中で力石や米俵を担がせたり、長文の規約を暗唱させるなど、体力や知力を試した後、「一人前の大人」として認める地域がありました。

この時代に先立ち、公家や武家社会で、十四・十五歳の子の成人を祝う儀式が「元服」であり、丁度、中三の皆さんの年齢でした。大人として認められるために、剣の力、論語を読む力など、バランスのある心・技・体が求められたことは言うまでもありません。

さて、こうした儀式を、社会的な試練に一人で立ち向かう節目にとらえ、最近の三年生を見たとき、ずいぶん大人になったなど感じます。それは、自分の進路にしっかりとした目的をもち、果敢に挑戦していくため努力、心の成長が見られるからです。困難を乗り越えた経験をもつ者、乗り越えようともがきながらも屈託なく振舞える者にのみ与えられる輝かしい若さが感じられます。

イギリスの作家ブルー・リットンは、「青春の辞書には、失敗という言葉はない」と言っています。例えつまずいても、間違ってもやり直すことができるのは、復元力に恵まれた若さの特権です。皆さんには、あらゆる可能性に挑戦し、それを現実のものにできるしなやかさが与えられています。目の前に立ちほだかる障壁から逃げ出し、可能性への挑戦を諦めたとき、人は輝かしさと大人になる機会を失うように思われます。

前途は決して平坦ではありません。しかし、臆することなく勇んで進め。自己の可能性を信じ、困難を光輝ある機会として!!



思い出 満載 宝ばこ

PTA会長 中谷直子

長く厳しい寒さの日々が続きましたが、そのつらい冬がいよいよ明けた喜びが大地に満ちています。この美しい青空の下で君たちは卒業の日を迎えます。それまで経験し得なかった多くを共に学んだ仲間たちと一緒に！3年前の入学式、新しい先生や友人たちとの出会いと交流、授業、部活、多くの行事、学校内外での活動、宿泊研修、修学旅行。五稜の星の下、キラキラした思い出のどれも新鮮な体験であり、たとえつらい事であったとしても、君たちの視野を大きく拡げてくれるものであったことでしょう。自分の望みに真直ぐなこと、人に優しく出来ること、思い出の宝の箱を持っている人は次の世代をきちんと継いでゆくおとなになると思います。

友人の詩集「はなのはなのはな」から。

「地上に色があることは喜びだが

自然のさまざまな色彩を草や木や花たちは

自らが花開くとき

人間の身体の中に

私たちは一生の間に

約束をしてきたのだろうか」

蒔かない種は生えないといいますが当たり前です。しかもよい種が蒔かれない畑には種が落ちて悪い草がはびこります。自然に謙虚に学べば、事毎に当たるに力を出し惜しみせず、良い事に一心に向かいましょう。「精進が実を結ぶ」という言葉を君たちに贈ります。

Go light go!



本との出会い

教頭 中谷 満

卒業を迎え、新たな環境で生活することに対する不安や期待で、何ともいえない気持ちでいるのではないのでしょうか。自分のことを振り返ったとき、高校生活をうまく乗り切れたのは素晴らしい友人に恵まれたことと、何より「本」との出会いが大きかったと思っています。中学生の時から、時々本には触れていましたが、本格的に本を読むようになったのは高校時代からでした。特にジャンルを選んでいたわけではなく、本の背表紙をみて、興味のありそうなものを手に取り、ぱらぱらとめくって、おもしろいようなものを買入し、一気に読んでいく。終わるとまた本屋に行くということを繰り返していました。探検記を読み、胸をドキドキさせたり、人物伝から人間としてのものの考え方や構えなど多くのことを学びました。

一人の人間が人生で経験することは、そんなに多くはないと思います。しかし、本は、その何十倍も多くの経験をしたと思わせてくれるのです。資格を取るためどうしても読まなければならない本もあるでしょう。しかし、役に立つとかということは一切考えずに読む本ほど「豊かな時間」をもたらしてくれることを私は経験しました。皆さんにも是非その経験をしたいと思っています。

皆さんは、新しく開館した中央図書館に歩いて通えるところに住んでいます。学校で一括して申し込んだ図書カードもっています。最初の一步は、図書館に行くことです。もちろん学校の図書館にもたくさん本があります。きつと皆さんが読みたいという本があると思います。きつと「豊かな時間」を経験すると思います。

平成17年度 生徒会テーマ

絆 ～ 友を信じて ～



3年B組 林 愛 美

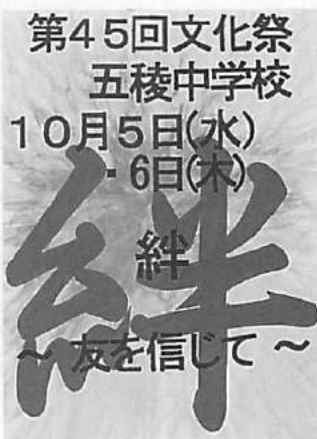
第45回文化祭
五稜中学校

絆

10月5日(水)・
6日(木)

～友を信じて～

2年A組 千葉翔太



1年C組 藤田和也

回 生徒会副会長になって

副会長 吉 村 舞 子

私のこれからの目標は「なんでも積極的に進んで頑張ること」です。なぜこの目標に決めたのかというと、私は前期に会計をつとめていたころ、いつも全校集会などのあいさつや司会などに進んでとりくめなかったからです。

これからは生徒会副会長として、目標に向かって精一杯頑張りたいと思います。

これからも、よろしくお願いします。

回 生徒会副会長になって

副会長 木 佐 大 志

生徒会副会長になっていろいろな仕事をした。例えば中田先生の着任のあいさつや生徒会誌の作成など、生徒会の仕事は、意外にうれしいです。

これから他の生徒会メンバーにも迷惑をかけると思うけど自分のできる仕事を精いっぱいがんばりたいと思います。

回 生徒会に入って

書 記 玉 川 信 也

僕が生徒会に入った理由は、ただ人の役に立ちたいと思ったからです。僕は、五稜中の代表である生徒会書記であるという自覚を持ち、仕事にはちゃんと責任をもって、しっかり頑張っていきたいです。

また、この五稜中学校をよりよい学校にしたいので、みなさんご協力をお願いします。

回 新たな一歩を

書 記 伊 藤 綾 香

この五稜中に入学し、初めての経験をたくさんした中で、私が「やってみたい」と思ったのが、生徒会役員でした。今の私の力では、会長のサポートどころか、一緒に仕事をするみなさんの足手まといにしかならないかもしれません。ですが、自分の力を精一杯出し切り、すこしでも役に立てるようになればいいと思います。全ての仕事を終えたとき、自信を持って「頑張れた」と思えるように一生懸命やりますので、よろしくお願いします。

回 生徒会の一員として

会 計 田 原 優 美

私は生徒会に入って、いろいろな経験をし、その中で多くの事を学んでいきたいです。そのために、これから何事にも自分から進んでチャレンジしていこうと思っています。

私の今後の目標は、自分の仕事には最後まで責任をもってやり通し、その仕事を自分でも満足できるものにする事です。この目標を達成できるように頑張ろうと思うので、これからよろしくお願いします。

回 生徒会に入って

会 計 山 城 夏 姫

私が生徒会に入り、数か月がたちました。最初の頃と比べ、今では仕事をはやくこなせるようになりました。それでも時々不安になる時があります。それは、自分にまわってきた事ができなくて役にたてなかった時です。これから先もそんな事があると思いますが、優しい生徒会の仲間とともに、せいっぱいがんばっていきたいと思っています。

～ 一年をふりかえって ～

[illegible]

会 計		書 記		副会長		会 長
八木 橋	吉村 舞子	高木 咲枝	工藤 純一	佐々木 ゆい	干場 亮佑	相田 玲歌
友梨名						

旧生徒会総務



今、素直に思うこと

會長 相田玲歌

一つのことを自分達の手で作り上げてく素晴らしさ。何事も最後まで正面から向き合っていくことの大切さ。どんなこともやってみないとわかりません。「自分には無理」と最初から決めつけていたのではないかもしれません。誰だって挑戦する前は自信がないのだから、勇気を持って一歩踏みだしてみて下さい。その瞬間、私達は一歩成長するのです。そして最後までやりとげた時、辛かった過去も達成感に変わって、また新たに自分に自信が持てます。私は生徒会を通してこんなにも素晴らしいことを学びました。この一年間、色々なことがありました。「会長」という仕事にプレッシャーを感じてやめたいと思ったこともありましたが、でも、それ以上に毎日が充実していたと思います。文化祭の準備で毎日遅くまで必死に働いた。「グラランドに時計をつけない」そんな一言から始まったアキ缶集会メンバーをはじめ、協力してくれた全校生徒のみなさんのおかげだと心からそう思います。

最後になりましたが、先生方、全校生徒の皆さん、そして生徒会メンバー。今まで本当にありがとうございました。生徒会を通して私は変わりました。苦勞もいっぱいしたけれど、その分、得たものは何倍も大きかったと思います。私は、こんな貴重な体験ができたことをとても幸せに思います。

新生徒会のみなさん。これからはあなた達の時代です。この五稜中学校の伝統を作りあげていって下さい。一年後、胸をはってバトスタッチでできるように精一杯頑張ってください。応援しています!!

◎ 生徒会副会長を終えて

副会長 干場 亮 佑

2年間生徒会をやって副会長はとても大変でした。学校行事での司会や挨拶や発表、文化祭などとにかく大変でした。特に文化祭の時期では6時くらいと、遅くまで残り毎日大変でした。無事にやっていけるのかという不安でいっぱいでしたが、みんな協力し合って無事に成功させることができた時は本当に充実感でいっぱいでした。

僕にとって忘れられない思い出のある生徒会の仕事でした。

◎ 生徒会を終えて

副会長 佐々木 ゆい

生徒会副会長：最初は慣れない生徒会でやっていけるか不安でした。やったことのない仕事ばかりで戸惑っていました。けれど、数を重ねていくごとにだんだんと慣れていき、そして仲間の協力もあり、不安はなくなっていました。メンバーと共に頑張ってきたこの一年間。これは私にとって、とても素晴らしい貴重な経験となり、充実した一年となりました。先生方、旧総務の皆さん、本当にありがとうございました。

◎ 生徒会を終えて

書記 工藤 純一

生徒会総務として約一年間活動した感想は、とても疲れましたがとても充実していました。

初めは生徒会総務はどのような仕事をするのかなど、わからない事がたくさんありましたが、生徒会総務のみんなと協力してやりとげる事ができ、自分が成長できた気がします。最後に旧生徒会総務のみなさん、先生方、本当にありがとうございました。

◎ 書記の仕事を終えて

書記 高木 咲枝

私の約一年間の書記の思い出といえば、とにかく、いつもいつも助けられていたような気がします。生徒会役員になったばかりで、何をするにも大変な事ばかりでしたが、他の生徒会役員の人に助けてもらって、なんとか一年終える事ができました。私のこの書記としての経験は、将来様々な形で私を助けてくれると思います。中心となって物事を動かしていく事、やりとげる事。そんな様々な事を経験することができ、大変充実した一年間でした。

◎ 生徒会会計を終えて

会計 吉村 舞子

生徒会会計として頑張ってきたこの一年間は、私を成長させてくれました。新一年生の体験入学、生徒会誌「五稜」の編集、生徒総会、文化祭などどれもすばらしい思い出となりました。とてもよい経験だと思っています。

このメンバーで、生徒会をやってくれて、私は本当に幸せです。旧生徒会のみなさん、おつかれさまでした。本当に楽しかったです。

◎ 生徒会会計を終えて

会計 八木橋 友梨名

生徒会会計の仕事を終えて今思うことは、少しでも生徒会に入れた責任をもって仕事ができただけです。私は途中からこの生徒会に入りました。何もわからない私に他の生徒会メンバーの仲間が色々教えて下さり本当にたすかりました。大変な仕事などありましたが、あつというまに時間が過ぎ、今まで生徒会で仕事ができ、すごく貴重な体験ができました。お世話になった先生、生徒会のみなさんありがとうございました。

平成17年度

生徒会一年のあゆみ



今年度も残りあと少しになりました。皆さんにとって今年一年はどうでしたか。楽しく過ごせたか。勉強や部活、委員会活動などいろいろなことがあったと思います。このページでは、今年度の生徒会活動を紹介しながら、一年間を振り返ろうと思います。

◆四月

◇入学式・1学期始業

小学校を卒業したばかりの新一年生。制服での登校や教科担任制など、今までとは違うけれども、新しい目標を胸に五稜中学校での学校生活が始まりました。

◇新入生歓迎会

この歓迎会で一年生は初めて在校生と対面し、生徒会活動や部活動の説明などが行われました。

◇認証式・専門委員会

各専門委員が選ばれ、この日から専門委員会がスタートしました。

◆五月

◇生徒総会

今年のテーマ「絆・友を信じて」にのっとり、各クラスから意見を出し合い、今年度の生徒会の目標や方針が決められました。

◆六月

◇第四十五回校内体育大会

それぞれ学年も変わり、新しいクラスになったばかりにもかかわらず、どのクラスも本当にすばらしい団結力を見せてくれました。個人競技でも一人一人が精一杯頑張っていました。

毎年恒例の先生方のリレー参加ではいつも以上に白熱していました。体育大会を裏で支えてくださった先生を含む関係者の方々お疲れ様でした。みなさん方のおかげで、きっと今年も、一生忘れることのできない良い思い出になったと思います。

勝ち負けは決まる行事ですが、これでクラス団結力はさらに高まりました。

◇ 中体連陸上大会

体育大会などで選ばれた選手達は、毎日放課後残り、練習を頑張っていました。本番では、3年生の平野さんが走り高跳びで全道大会に出場するなど練習の成果を発揮しました。

◇ 七月

◇ 中体連総合大会

運動部にとつては3年間の部活にピリオドをうつ大会。3年生は最後の大会ということで、3年間自分たちが学んだことを全て出しきりました。1・2年生はそんな3年生を声がかかるまで応援し、各部とも、すばらしい試合ぶりでした。

◇ 亀田川清掃

早朝からのボランティアにもかかわらず、今年も多く生徒達が参加しました。地域の方と協力し、みんなで亀田川の清掃を行いました。

◇ 一学期終業式

体育大会や中体連など、さまざまな行事があった一学期もあっという間に終わり、全校生徒が待ちに待った夏休みへ



◇ 八月

◇ 二期始業式

夏休みも終わり、いよいよ新学期。最も長い二期がスタートしました。

◇ 教育実習生着任

8月は、教育実習生が着任し、学校生活にぎやかで、毎日が楽しく充実していました。

◇ 被爆体験者講演会

全校生徒が真剣に講演に耳を傾け、原爆の恐ろしさや悲惨さを知り、戦争についてあらためて考える機会となりました。

◇ 九月

一年生の校外学習・二年生の宿泊研修が行なわれ、文化祭に向けた活動も活発になりました。今年は、「絆・友を信じて」をテーマとして、みんなで文化祭の成功のために協力していきました。

◇ 十月

◇ 第四十五回文化祭

一日目は、毎年恒例の合唱コンクールが行われました。どの学年も音楽の授業などで、クラス全員で協力し、助け合い、本番を迎え

ました。全クラス、毎日の練習の成果が表れ、会場中に綺麗なメロディーと歌声を響かせ、会場にいる全てのの人に感動を与えていました。

2日目は、私の主張で深く考えさせられ、実行委員会企画でたくさんさんの笑いをもらいました。たくさんさんの拍手が生まれた2日間も心地よい疲れとともに幕を閉じました。

◇生徒会役員選挙・認証式

今年は八名が立候補し、立候補者全員が光輝いた面持ちで演説に挑みました。どの演説も「五稜中学校のために」という思いを精一杯生徒徒のみなさんに伝え、自信に満ち溢れたものでした。

十一月

全学年が協力し、元町ライオンズクラブのみなさんにも手伝っていただき、スチール街・アルミ街を洗い、分別しました。時計をつけるために、みんな一生懸命頑張りました。

◇教育実習生着任

今年は8月に続き5人目の教育実習生が着任しました。おかげで私達もいい経験をしたと思います。



十二月

◇生徒会誌編集委員会発足

今年も新旧生徒会と二、三年生の代議員を中心として、この生徒会誌「五稜」の制作に取り組みました。

◇二学期終業式

長かったはずの二学期があっという間に終わり、たくさんさんの宿題とともに冬休みがスタートしました。

一月

◇三学期始業式

年が明け、いよいよ一年のまとめとして短い三学期が始まりました。

三月

◇卒業式・修了式

あっという間だったようで本当に多くの事を学び、経験できた一年間が終わりました。三年生は新たな希望と共に、それぞれの道を歩み始めました。在校生は次の学年へと大きな一歩をふみだしました。

専門委員会



活動報告

代議員を終えて

代議員会

代議員の主な仕事は、前期に文化祭実行委員として生徒会企画を考え実行し、後期に生徒会誌の編集を行うことです。

でもそれだけではありません。学級で物事を決める時は前に出て意見をまとめたり、修学旅行で生徒会役員とともに、各々度々ある出発式や到着式等で司会や挨拶をします。

大勢の前に立ち、話をするのはとても緊張し勇気がいるものです。皆が楽しめるような企画を考えるのもきつと大変な事です。ですが、其の分遣り甲斐のある楽しい仕事です。遣り遂げた晩には、短い中学校生活の中で素晴らしい経験ができたと思えるでしょう。

来年度、何か委員に入るつもりなら、是非代議員も候補に入れてみて下さい。挑戦してみること、自分を成長させる大きな機会になると思います。

最後に、お世話になった先生方や協力してくださった方々、本当にありがとうございます。来年度の代議員、他委員会へ

GOOD LUCK!!

(林 愛美 記)

学習委員会のおもしろさ

学習委員会

学習委員会の仕事は、テストの予想問題作成、教科連絡、朝自習、そして忘れ物調べをする事です。テストの予想問題作成は、なかなか大変です。だけどいろんな意味でおもしろく作りがいのある作業です。この学習委員会はいろいろ学ぶ事ができる委員会です。

ちゃんと仕事ができないとき、「責任」を学びました。そして、みんな協力して物事を決めるという事をよく学びました。学習委員会はずいぶんためになる委員会です。なので、これから、委員会に入るときに迷ったら、ぜひ学習委員会に入ってください。必ずいいことがあるでしょう。そして、自分達の時よりも、もっといい委員会を作っていってほしい。

(竹澤 公介 記)

生活委員会を終えて

生活委員会

僕は今までに2回生活委員会を経験しました。1年生の時にやって楽だったので3年生になってもやろうと思いました。けれど、いざ生活委員会になって活動してみると、1年生とは全く活動内容が違いました。

話し合いの中で数少ない意見をまとめて、みんなが納得するきまりを作るのがすごく大変でした。

生活委員の仕事は、学校内の生活をみんなが楽しくすごせるように、きまりをつくり、守ってもらう仕事です。ですからみんながきまりを守ってくれば、ほとんどすることがなくなりとても楽な仕事になるはずです。

ですから、これから委員会活動に取り組もうと考えている人は、生活委員会も選択肢に入れてみて下さい。学校のために頑張ってくれる人を待っています。

(高橋 佳也 記)

体育委員長として

体育委員会

体育委員会の主な仕事は、体育の授業の時にみんなをまとめたり、体育大会の時中心になって活動することです。力仕事が多くとても大変ですが、その分、大きな行事を成し遂げた時の達成感は、とても大きいものです。

例えば、体育大会の時、僕は初めて、選手宣誓をしました。不安と期待で胸がいっぱいでしたがわくわく感がわいてきました。

無事に選手宣誓が終わった時、僕は大きな達成感を味わう事ができました。

みんなの前でなにかをするのが苦手な僕が体育委員長として、積極的に行動できるようになったのは、体育委員の活動を通して自分に自信がもてたからだと思います。

僕は体育委員会に入り、委員長になったことで、とても素晴らしい色々な経験ができて良かったと思っています。

最後にお世話になった関谷先生、協力してくれた生徒のみなさん本当に感謝しています。

あざあゝす

(菊地 慶浩 記)

保健委員会を終えて

保健委員会

保健委員の主な仕事は、白衣点検や、水飲み場の清掃・石けんの補充・清潔検査など学校の皆の健康や清潔に関する仕事です。

あまり目立たない地味な仕事ですが、やりがいがある仕事です。

水飲み場は思ったより汚れていて汚れを落とすのが大変でした。でもきれいにしたあとはとても気持ち良かったです。

私は委員長になった時ちゃんとできるかとでも不安でした。でも、保健委員のみなさんや先生方のおかげでやりとげる事ができました。

委員長は保健委員会だけでなく、学校全体に関わる文化祭実行委員の仕事もあって大変でした。

でも、私は保健委員会に入り、委員長になって色々な良い経験ができてよかったと思っています。

(竹田 利葉 記)

文化委員を終えて

文化委員会

今年、文化委員会は、男子が掲示物の貼り替え、女子が図書館の開館を行い、文化祭前にはボスターコンクール関連の仕事も手伝いました。

委員長としては、男子も女子もとても良くはたらいってくれる人ばかりだったので、とても楽でした。

特に女子は、例年通りの昼休みの開館の他に、本の貸し出しのための準備もよく頑張ってくれました。貸し出しの準備はすべてが一人からの作業でわからないことだらけだったし、図書室の本全部を調べていくのはとても大変だったけれど、私達3年生がいなくなる前に貸し出しまでいきつけたのは、みんなで力を合わせて頑張ったからだと思います。本当にごろうさまでした。

ただ、頑張ったわりには、図書室の利用者は少ないので、次の文化委員長には、もっとたくさんの人に図書室に足を運んでもらえるように頑張っしてほしいと思います。

(川田 仁美 記)

委員会活動を終えて

ボランティア委員会

今年のボランティア委員会は、例年とは一味違った活動をしました。毎年行っている花壇作りや亀田川清掃も力を入れていたけど、今年はなんとといっても、盲学校!!! 今まで味わった事のない貴重な体験をさせてもらいました。

みなさんは盲学校の事を知っていますか？ 多分みなさんの多数は、「盲学校」と聞いてだけで、「障害者が通っている所。」「目が見えない人の学校。」そんな事が頭に浮かぶと思います。確かにそうなんですが、そんな簡単に一概にはいけなくて僕は思います。盲学校の生徒達は、目が見えないなんて微塵も感じさせないくらい元気がいっぱいいて、僕達にも元気を分けてくれます。そんな生徒達を僕はただ「すごい。」と思うばかりです。

みなさんも次の委員決めでは、ボランティア委員に是非、立候補してみてください。ボランティアをすると、充実感が満たされると思います。そんな楽しい活動を、みなさんも味わってはいかがですか？

(細越 大毅 記)

放送委員を終えて

放送委員会

今年の放送委員会は、なんととってもマイペースな人達が集まった委員会で、話し合いもなかなか進みませんでした。でも、鶴先生の「真剣にやれ!!!」の一言で委員会は一気に変わり、まじめに取り組むというような委員会でした。ですが、仕事になると、放送を聞く人達のことだけを考えたアナウンスをきっちりとするという責任を持つてする委員会でした。今年の放送委員会の仕事は主に朝と昼の放送、その他に体育大会や文化祭のアナウンスというものでした。

お昼の放送では、去年の先輩たちが「もっとインタビューなどの企画を取り入れたらよかった。」と言っていたので、先輩たちの反省を今年は現実に仕事内容に取り入れたら、なんと!!! すごく人気だったのでよかったです！最後に、こんな委員長についてきてくれてホントにありがとう！そして鶴先生が僕の助けをしてくれたおかげで委員長をやりとげることができました!!

放送委員の仲間たち、みんな最高だあ!!!

(佐々木恭兵 記)

選挙管理委員会を終えて

選挙管理委員会

僕は、選挙管理委員会の委員長をやったくさんのことを学べたと思います。

特に立会演説会では候補者と応援演説者の五稜中生徒会総務をつくっていきたいという強い意志と希望を身近で感じる事ができました。僕だけではなく、演説を聞いている皆も大きく心が動かされたと思います。

選挙管理委員の主な活動は、立会演説会の進行と投票用紙の開票です。投票用紙の開票は一枚一枚の紙をチェックしなければならいとても手間のかかる作業です。

そんな地道な仕事だからこそ選挙管理委員会というものが、生徒会総務があるのではないのでしょうか。

今年の選挙管理委員は、皆テキパキと仕事をこなしていたので立会演説会の進行も投票用紙の開票も思いのほかスムーズにできて良かったと思います。

選挙管理委員会には、当たり前ですが開票の結果を他言しないという大きな責任があります。なので、選挙管理委員会の仕事はやりがいがあると思うので入ってみたい人は是非頑張っちゃって下さい。

(伊藤 孝明 記)

一度は応援団へ！

応援団

私は今回、初めて応援団に入団しました。入った理由は委員会・運動部に入っていない人は強制的に応援団に決定だったからです。

そういう理由で入ったので、最初は応援団長になるなんて思ってもいませんでした。でも、何故か私は団長に決まり、やっぱりやる気のないまま練習をしていました。

だけど、何回か応援練習をするうちに、とてもおもしろくなってきました。副団長たちと振り付けを考えたり、みんなとグラウンドで大声を出したり・・・。「私達の応援で運動部の人を少しでも励ます事が出来たら・・・」成り行きで入った応援団でしたが、いつからか本気になっていました。今では団長をやった良かったとさえ思っています。

あまりやりたがる人のいない応援団ですが本当におもしろいです。みなさんも、一度で良いからやってみてください。

最後ですが、あの素晴らしい振り付けを残して欲しいと思います。手拍子は顔の横、足はさりげなく交差させて・・・。

(中谷 詩世 記)



平成17年度 五稜中学校生徒会役員・専門委員一覧表(前期)

	3 A	3 B	2 A	2 B	1 A	1 B	1 C
代議員 長副	西村 恭輔 中谷 詩世	加藤 彌弥 林 愛美	玉川 信也 安澤 しおり	池田 沙耶 村川 裕	工藤 有史 相田 詩愛里	田原 優美 田中 遼馬	小野 彩花 藤田 和也
生 活	高橋 佳也 中江 麻里	筆村 崇充 木村 早希	藤森 隆之 細貝 友香	工藤 平 小笠原 叶恵	齊藤 佑成 大川 芽菜	吉田 康彦 高橋 かすみ	鈴木 翔太 砂原 麻那
学 習	竹澤 公介 和泉 千尋	森 裕和 気仙 友美	磯部 楓 渡辺 清香	岩館 陽介 奥村 菜穂	青木 健 武井 翼	野島 友春 柳田 麻衣	岡本 巧 岡河 美里
体 育	菊地 慶浩 平野 ちひろ	樋口 敬祐 深澤 麻未	岡部 優大 米澤 愛衣	新井田 光 荒野 梨沙	小林 大和 新堀 静佳	白濱 浩太 穴戸 優	森 政人 山内 なお子
保 健	上戸 晃治 久保田 早貴	岩館 大輔 竹田 利菜	佐藤 修 蛸子 肖	佐々木 勇輝 佐藤 美咲	高坂 将史 吉田 茜	張 端一 堀川 真紀子	村川 開奏 若狭 萌子
文 化	松本 裕也 高村 由莉	町田 浩平 川田 仁美	千葉 翔太 尾見 遥奈	山田 翔太 渡邊 あかね	佐々木 一興 林 奈実	原田 大徳 高橋 りえ	伊藤 洋道 齊藤 藍子
ボランティア	名平 忠伸 井上 登紀子	細越 大毅 齊藤 朱夏	鈴木 真 小笠原 久恵	堀田 貴雅 松村 雅	掛端 龍 三上 圭純	三浦 悠 櫻庭 麻衣	西村 涼 渡邊 愛
放 送	伊藤 寿弥 奥山 紗貴	佐々木 恭兵 山本 友美	棟方 皓平 中村 菜津美	小林 勇太 長谷 優	村山 祐哉 齊藤 伶南	戴 智仁 葛西 里映	杉村 良 千葉 舞
学級書記	中町 勇貴 工藤 渚	宮崎 雄 田原 明日美	今野 敬斗 松代 詩央里	南條 利樹 上杉 亜那	高橋 靖貴 横谷 実穂	佐々木 洋輔 山城 夏姫	福士 夢人 桑村 英里
学級会計	前川 裕一 岩井 ひかる	水野 勇 相田 玲歌	山形 匠 外崎 いづみ	木佐 大志 有本 晴香	佐藤 諒 松代 有加	佐藤 僚祐 福田 悠美	稲場 翔也 伊藤 綾香
選挙管理	伊藤 孝明 佐藤 慎 山田 和哉 山本 翔 和泉 千尋 井上 登紀子 遠藤 由紀子 奥山 紗貴 工藤 渚 久保田 早貴 佐々木 麻美	加藤 麻里 加藤 彌弥 栗田 大地 高村 由莉 土屋 悠乃 中江 麻里 中村 遥香 中谷 詩世 松岡 由希子 村川 緑姫	門傳 雪菜 鍵主 佳飛 鈴木 真	阿部 圭 工藤 平 上杉 亜耶 松村 洲伽	渡部 里美 近江 芳幸 田賀 茜	今野 邑子 菊地 洋介 成田 みづき	木津谷 奏 岩崎 俊太 森藤 貴洋 高杉 美久 能登 谷梨絵

総 務	会 長	相田 玲歌 (3 B)	副会長	干場 充佑 (3 A) 佐々木 ゆい (3 B)	書 記	工藤 純一 (3 A) 高木 咲枝 (2 A)	会 計	八木橋 友梨名 (2 A) 吉村 舞子 (2 B)
-----	-----	-------------	-----	-----------------------------	-----	----------------------------	-----	------------------------------

平成17年度 五稜中学校生徒会役員・専門委員一覧表(後期)

	3 A	3 B	2 A	2 B	1 A	1 B	1 C
代議員 長副	名平 忠伸 岩井ひかる	佐々木康平 林 愛美	磯部 楓 八木橋友梨名	村川 裕 池田 沙耶	齋藤 佑成 相田詩愛里	成田みづき 三浦 悠	千葉 舞 福土 夢人
生 活	伊藤 孝明 奥山 紗貴	佐々木恭兵 木村 早希	岩宮 佳佑 外崎いづみ	菅原 浩一 有本 晴香	西久保嘉孝 新堀 静佳	市川 裕馬 住山 侑衣	山内 淳 藤田 明穂
学 習	伊藤 寿弥 和泉 千尋	岩館 大輔 気仙 友美	沖田 正人 瀬川 彩奈	南條 利樹 福井 伶奈	尾内 優輝 中村 知穂	藪 智仁 堀川真紀子	鎌田 基希 西村 果歩
体 育	菊地 慶浩 平野ちひろ	樋口 敬祐 深澤 麻未	佐藤 元気 中村菜津美	新井田 光 荒野 梨沙	大塚 亮真 齋等 伶南	菊地 陵浩 佐藤 美菜	只野 優希 山内なお子
保 健	工藤 純一 中西 愛	西崎 裕介 竹田 利菜	鎌主 佳飛 水島 綾	小林 勇太 小笠原叶恵	高坂 将史 吉田 西	張 端一 中村 桃子	村川 開奏 若狭 萌子
文 化	松本 裕也 井上登紀子	金 尚人 川田 仁美	西村正太郎 尾見 遙奈	山田 翔太 渡邊あかね	佐々木一興 本村 真帆	荒田 大知 坂本 紗綾	伊藤 洋道 安保 詩織
ボランティア	高橋 佳也 山田 絵理	笹村 崇充 加藤 麻里	千葉 翔太 笹村 鈴沙	渋谷 俊輝 佐藤 美咲	佐々木雄亮 三上 圭純	野島 友春 柳田 麻衣	杉村 良 桑村 英里
放 送	山本 翔 土屋 悠乃	加藤 彌弥 相田 玲歌	今野 敬斗 吉田早公子	山崎 恵祐 澤口 舞	高橋 靖貴 林 奈実	佐々木洋輔 今野 邑子	藤田 和也 砂原 麻那
学級書記	前川 裕一 中村 遥香	片桐 充 田原明日美	西浦 敬佳 安澤しおり	堀田 貴雅 奥村 菜穂	岡村 博基 野呂香奈実	佐藤 僚祐 福田 悠美	西村 涼 出村 伊世
学級会計	中町 勇貴 久保田早貴	水野 勇 山本 友美	岡部 優大 松代詩央里	二瓶 健太 藤原 愛理	梶 頼空 沖野 未央	田中 遼馬 葛西 里映	小田 裕介 坂本 磨美
選挙管理	伊藤 孝明	加藤 麻里	門傳 雪菜	阿部 圭	渡部 里美	今野 邑子	木津谷 奏
応援団	佐藤 慎 山田 和哉 山本 翔 和泉 千尋 井上登紀子 遠藤由紀子 奥山 紗貴 工藤 渚 久保田早貴 佐々木麻美	加藤 彌弥 栗田 大地 高村 由莉 土屋 悠乃 中江 麻里 中西 愛 中村 遥香 中谷 詩世 松岡由希子 村川 緑姫	鎌主 佳飛 鈴木 真	工藤 平 上杉 亜耶 松村 洲伽	近江 芳幸 田賀 茜	菊地 洋介 成田みづき	岩崎 俊太 森藤 貴洋 高杉 美久 能登谷梨絵

総 務	会 長	高木 咲枝(2 A)	副会長	吉村 舞子(2 B) 木佐 大志(2 B)	書 記	玉川 信也(2 A) 山城 夏姫(1 B)	会 計	田原 優美(1 B) 伊藤 綾香(1 C)
-----	-----	------------	-----	--------------------------	-----	--------------------------	-----	--------------------------

卒業生へ 贈る言葉



未熟なものから

三年A組 担任 須藤 誠一郎



「走れメロス」が大好きだった。疲れ切って、倒れ、自分に言い訳している場面にハラハラし、思いなおして走り出す姿に「よし！ 行け！」と心の中で叫びながら、最後まで一気に読んだ。

「ダンス・ウィズ・ウルブズ」には、考えさせられた。白人とは何なのか、ネイティブをどうして迫害しなければならないのか。ネイティブと運命を共にする主人公（白人）たちに共感した。

「愛と哀しみのボレロ。」ももう何十回もみた。人間は哀しいと思った。けれども、哀しいからこそ、強くたくましくなれるのだと知った。第二次大戦から始まり、現在に至る、世代の絆。言葉に尽せない程の悲しみ、怒り、絶望。そして再生と希望。愚かだからこそそれを乗り越えられる唯一の生物。それが人間。

人間であろうとすることに、こだわって生きるのは、大人にとっても難しいこと。けれども、だからこそ、必死になって生きようとするものに、より素晴らしい「生」の一瞬一瞬があるのだと感じられる。そういう生き方をして欲しい。

奇跡のような難関をくぐり抜け、この世に「命」を与えられた「自分」を全うするために。

幸 せ

三年B組 担任 南 條 恵 二



卒業おめでとうございます。皆さんと出会ってから、早いものでもう3年が経つんですね。3年前の入学式で見たあとけない表情が、今では頼もしい顔に変わっています。皆さんの姿を見ることが、3年という月日の重さを感じることができました。

この3年間を振り返ってみて、皆さんはどんな感想をもっていますか。いろいろな経験を通して、楽しい思い出や辛い思い出がたくさんあったことでしょう。楽しい思い出が多いことは幸せですが、辛い思い出の方が多かったという人も少なくないと思います。

できることなら辛い思いをせず、いつも幸せに過ごしていたいと思っている人がほとんどなのではないでしょうか。でも、辛いことを経験するのは、決して無駄ではありません。辛い思いをした人は、どんなことがどれだけ辛いことなのか知っています。辛い思いをしないように努力することで、これからの人生に生かすことができるでしょう。また、辛い思いをした人は、人の痛みや苦しみをわかってあげられる優しさをもつことができます。自分の経験をもとに、周りの人に手を差し伸べることで強い人間に成長できます。

残念なことにこれから先の人生でも、辛い思いをすることの方が多いいのではないかと思います。でも、「辛」と「幸」は紙一重です。辛いことから逃げ出さず、向き合って、助け合って生きていこうとすることが幸せにつながるのではないのでしょうか。一度しかない人生、どうか幸せに過ごしてほしいと願っています。

目標を持つこと

三年 副担任 鶴 宗三郎



卒業、おめでとう。自信と忍耐と目標を持って進んでください。特に、目標を最重点にしてください。目標達成する年月を決めて下さい。多少、年月が延びるかもしれませんが。成功は、才能にあるのではなくありません。いかに強い願望を持ちそれに迫る努力をするかです。GOOD LUCK!

更に、秘訣を開きたい方は、私（魔法）のところへ。つまり、落ち込んだ時は、どうぞ遠慮なく私のところへ。

贈る言葉

教諭（三年団） 石名坂 克明



卒業おめでとうございます。わずか2年間のふれ合いでしたが、英語の授業や学校行事を通して、たくさん思い出ができました。君たちのこれからの長い人生にとって何かの参考になればと思いい次の言葉を贈ります。

『人生の目標といったら5つしかない。

ひとりのいい女（男）をみつけること。

いい本・いい酒・いい物語・いい友を。』

誰の言葉か忘れましたが、実感できる人生を祈念しています。

「卒業おめでとう!!」

二年A組 担任 日角 朱実



三年生の皆さん、卒業おめでとうございます!!
 たった一年しか授業を受け持たなかったけど、A
 もBも毎回スリリングなクラスでしたよ!!どこかで「ピーちゃん」
 を見つけたら、日角①を思い出して欲しいです②

新しい旅立ちに向けて

二年B組 担任 関谷 正二



「己れに今日という日は二度とない。限りある
 生命を精一杯生きよ!!」これは、私が小学校の担
 任よりいただいた言葉です。新しい旅立ちを大切に、悔いのない人
 生を、一歩ずつ進んで下さい。卒業おめでとう!! いつでもお元氣
 で!!

御卒業おめでとうございます

二年 副担任 阿部 眞美



卒業おめでとうございます。新しい生活が楽し
 く、この三年間の努力が報いられたものとなるよ
 うに願っています。元氣で頑張ってください。

卒業証書

教諭(二年団) 渡辺 淳



卒業証書は単なる一枚の紙ではありません。皆
 さんが義務教育を終えたことを証明する大事な物
 です。これは、就職、高校や大学進学のための基礎資格でもありま
 す。どうか、三年間の素晴らしい思い出と共に、一生大事にしてほし
 いと思います。

無限の可能性

一年A組 担任 後藤 昌樹



若い君たちには、たくさんの可能性がありま
 す。自分の努力次第で、何にでもなれるし、どん
 なものでも手に入られる可能性をもっています。目標をもち、多
 くのことに挑戦し、いろいろな力を身につけてください。卒業おめ
 とう。

一年B組 担任 山口 啓子



三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。
 授業での出会いはありませんでしたが、委員会
 や部活動そして各種行事でたくましく活動する様子をよくみていま
 した。これからは自分で決めた進路で活躍してください。

おめでとうございます。

一年C組 担任 木村 麻岐



卒業おめでとうございます。今後は自分で自分の道を決めていかなければなりません。自分で決める自由と責任の大きさを実感するはずです。自分を信じ、力強い歩みで自分だけの素晴らしい道をすすんで下さい。

「つかめ！明るい青春!!」

一年B組 副担任 小田 桐 智



未知への一步を恐れるな！若さはチャレンジです。自分の人生を自分で切り拓いていって下さい。「つかめ！明るい青春!!」

自分らしさをもち続け前進を！

一年A・C組 副担任 大山 裕 香



いよいよ卒業ですね。おめでとうございます。皆さんの笑顔に会えなくなるのは正直言って淋しいですが、自分の良さを大切に新しいものにチャレンジして多くのことを吸収して、広い視野を持った大人へと成長して下さい。

「短いあいだでしたが」

一年A・C組 副担任 小山 由 貴



ご卒業おめでとうございます。これからの人生楽しい事ばかりではなく、色々な苦労や困難があると思いますが、自分の夢の実現に向けて、一生懸命頑張ってください。

大人への大きな一歩

養護教諭 武田 輝代



今年もお正月に成人式のこと話題になりました。二十歳になり大人の仲間入りをした人もたくさんいたようですが、年齢が二十歳になったとだけで中身はまだ成長していない人も中にはいたようです。大人になるということは、年齢だけでなく、自分の行動にも責任を持ち、自分で生計を立て、社会的に認められるということでしょう。三十歳や四十歳でも大人になっていない人もいるし十代でも大人と呼べる人もいます。中学卒業は大人への大きな一歩と言われます。色々な経験と多くの努力をして立派な大人になって下さい。その時はその成長した姿を喜び昔を語り合いましょう。

良き友との出会いを

養護教諭 中田 美紀



人は誰にも良い所もあれば、悪い所もあります。これからの人生、自分から見て優れた人、自分の学びになる人と交わる気持ちを持って下さい。良い友を選んで、良い人生、幸福な人生を歩むことを願っています。卒業おめでとう。

常識と教養

事務職員 相原 郁夫



卒業おめでとう。君たちは義務教育九年間を終え、それぞれの道を進むわけですが、成人になるまでに常識と教養を身につけて欲しいと思います。くれぐれも成人式にバカをやるような人間にはなって欲しくありません。



卒業おめでとうございます

事務職員 歩仁内 里美

三年間の中学校生活で学んだ貴重な経験を生かし、失敗を恐れず色々な事にチャレンジしてください。これからの明るい未来へ夢を紡ぎながら、それぞれの人生を歩んでください。



卒業おめでとう

用務員 高野 雄二

卒業おめでとう。
将来に向けて充実した高校生活を送って下さい。



卒業おめでとう

用務員 高村 秀貴

卒業おめでとう。高校生活は、きびしいものだと思います。悔い無い充実した、3年間を送って下さい。



卒業おめでとうございます

給食 大門 加奈子

新たな生活の第一歩です。たくさんの方との出会いを大切に、どんな時も「人におこらず」「他人への思いやり」と「自分らしさ」を忘れる事なく、将来の夢の実現にむけて日々努力して下さい。さようなら。



五稜中での三年間を生かして下さい!!

二年A組 細貝友香

三年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

私達が入学してから今日まで、先輩方にはお世話になりっぱなしだったなあと 생각합니다。苦勞してみんなで作り上げた文化祭、体育大会、委員会、そして毎日一生懸命打ち込んだ部活動……。どれも先輩なしではできなかったし、先輩方がいたからこそすばらしい思い出になったんだと思うと、心の底から感謝の気持ちがこみあげてきます。本当にありがとうございます。

今、皆さんはこの三年間をどのように振り返っていますか？ きっといろいろな事があつたでしょう。もちろん、楽しい事ばかりではなかったと思います。失敗して落ちこんだり、頑張ったのにくやしい思いをしたり、自分の気持ちをうまく表わせず、友達とケンカしてしまったり……。とても一言では言い表わせないと思います。でも、それらを全部乗り越えることができたからこそ今の自分があるんだと思つて下さい。楽しかった事もつらかった事も、今はそれぞれの先輩方にとってプラスになっていると思います。

そして、私達はそんな先輩達の頑張る姿に心を動かされました。特に合唱コンクールでのすばらしい合唱は、私達に感動を与えてくれました。先輩達がいろいろな壁を乗り越えたことは、私達後輩にとってもプラスになっていたのです。

皆さんには、これからも乗りこえなければならぬ壁が待っていると思います。でも大丈夫です！この三年間は先輩達それぞれの道を歩んで行くための大きな力になると思います。そして、これから先輩らしく、前向きに頑張つて下さい。

見方を変える

二年B組 長谷 優

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

五稜中学校に入学して、先輩方に出会い早くも二年が経過しようとしています。私達二年生は、今まで先輩達に委員会や部活動で、さまざまな面で大変お世話になりました。

その中でも私が一番お世話になったのは、テニス部の先輩です。入部した時の頃は、全く挨拶のできなかった私に優しく声をかけてくれたりしたのが、先輩と接する唯一の救いとなりました。しかしたまにモメることもありましたが、この場を借りて謝りたいと思います。あの時は本当にすみませんでした。大会などで、先輩が応援してくれたときは涙が溢れるほど嬉しかったです。このように振り返るとテニス部の先輩、他の先輩から色々なことを学んできたと思います。私も、みなさんのように素敵で先輩から頼られる先輩になりたいと思います。

先輩達が卒業されるのは、とてもさみしいです。先輩達と出会つてからの二年間は私にとって大切で一生忘れられない宝物です。だから、先輩達も私達を忘れないで下さい。高校生になったら色々な試練があると思います。でも、きっと先輩はその試練を乗り越えることができるはずです。たとえ失敗しても見方を変えていけば、それは成功の元になるはずです。ですからドーンと何事にもチャレンジして下さい！失敗を恐れずに！

では、最後になりますが、人生は一度きりしかないので。後悔しないように今を生きて下さい。二年間ありがとうございました。

卒業生へ贈る ～在校生より～

在校生へ贈る言葉

三年A組 中西 愛

私達卒業生七十三名は、それぞれの目標と大切な仲間・在校生の皆さんとの想い出を胸に卒業を迎える事が出来ました。行事や部活を通して時につかり、先生方の助言・指導、家族や友人の心の支えがあったて相手を認め、少しずつわかり合い成長してきた様に感じられます。

在校生の皆さん。これからも続く五稜中学校のために、私達からお願いがあります。「挨拶は心の扉」と言われています。おはよう・さようなら・ありがとう等の短い言葉の中に、人を幸せにする力と幸せへのメッセージが込められています。いつでも誰にでも素直に言える人でいて下さい。

同時に、人間関係を良くも悪くもする私達の言葉は、非常に重要な働きを持っています。いじめのつもりではなく親しみを込めて言った何気ない一言が、人の心を傷つけている事があります。反対に受け取る人に意欲と勇気を沸き立たせてくれる一言もあります。これからも相手を思いやる言葉と優しい心を持ち続けて下さい。

そして何よりも毎日元気で過ごせている事に感謝しながら、これから歩く今日の道を悔いを残さない様に歩んで下さい。私達は今様々な疑問を抱きながら、勉強や運動に励んでいます。これからは、これからの自分自身の生活、夢や希望の実現に向けてきつと役に立つものばかりです。

一年後、二年後在校生一人一人の十五の春が輝かしいものとなる様、卒業生一同心より願っています。

在校生へ贈る ～卒業生より～

在校生の皆さんへ

三年B組 気 仙 友 美

中学校の三年間は人生にとっては短い時間ですが、将来の進路の方向性が見えてくる、最初のスタートラインに立つ、大事な時期です。

しかし、慎重になり過ぎず、思い切って色々な事にチャレンジして、自分の可能性を試してみてください。考えているだけで行動しないのは、何もしないのと同じです。

中学生になると、勉強は段々難しくなり、その先には高校受験が待っています。人間関係は難しくなり、小学生の時のように何も考えず、楽しく遊ぶ事も少なくなり、話し相手、友達も限定されてきます。自分が変わったのか、周りが変わったのか、よくわからないけど、生きてる世界が狭くなっていく感じがします。

そんな私には、生きがいがありました。それは、吹奏楽部での部活動です。一年生の時、先輩に指導を受け、上級生との関係が広がり、後輩ができ、先輩との交流も広がりました。吹奏楽大会で金賞を目指し、三年間皆で頑張ったものの銀賞で終わりましたが、部員の学年を超えた一体感や連帯感は、とても貴重な体験でした。部活を通じ、私の住む小さな世界が大きな世界となりました。在校生の皆さん、勉強ばかりでなく部活も頑張れ、自分の世界を広げていってください。

学校生活で、これからの色々な事に悩んだり、落ち込むこともあるでしょうが、良い解決方法があります。それは、いつも明るくプラス思考を持つことです。多少の失敗はあってもよくよせず、明るく前向きに進んでください。そうすると道は必ず開けてくるでしょう。

部活動



目標に向かって突っ走った3年間

野球部 西村 恭輔

「ストライク、ゲームセット・・・」

あの瞬間、僕たちの最後の夏が終わった。中体連で勝つという目標に向かって突っ走ってきた3年間。思い起こせば色々な事が思い浮かんでくる。

全員で一生懸命頑張った練習、全員が精一杯の力をだして頑張った中体連。

言葉では言い表せない程、色々な事があった。しかし、結果中体連では負けてしまった。だがこれは野球部全員が頑張った結果だからしょうがないと思う。

何んだかんだ言って、この野球部で過ごした3年間は楽しかったと思う。いい先輩もいたし、これから自分のためになる事を何個も与えてくれたからだ。

最後に、今まで3年間の間お世話になった先生方や保護者の方々に感謝しています。僕たちが不自由なく野球をプレーできたのは、先生方、保護者の方々のおかげです。ありがとうございます。

それともう一つ。後輩のみなさん、来年の中体連、春季大会では必ず今年以上の成績を残せるように頑張ってください。本当にありがとうございました。



感謝

サッカー部 新井田 光

僕がサッカー部に入学してから、もうすぐ二年がたつ。今、サッカーをできるのもたくさんの方々の助けがあったからだ。

初めての中体連が終わり、先輩方が引退してからの約八ヶ月間、僕は四人だった。そんな中、大川中が合同チームを組んでくれた。大川中の人たちは、五稜中だからという差別もなく、僕たち四人をチームの一員として認めてくれた。また、そんな大川中の人たちから学んだこともたくさんあった。

その合同チームも三月で解散し、顧問であった七宮先生も転勤することになった。そして、人数が少ない事や顧問が居ないことから廃部の話にまでなった。その時は今までで、一番悩んだと思う。

そんな中、新しい顧問に後藤先生がなってくれ、一年生もたくさん入ってくれた。そして色々なことがありながらも今年もがんばってきた。今年こそは絶対に良い結果を残したい。

最後に、今までご指導してくれた七宮先生、色々な面で手助けしてくださった先生方、本当にありがとうございます。

これからも、よろしくおねがいします。



卓球部という船で見た思い出

卓球部 竹澤 公介

一年生の時に入学して、早三年がたちました。卓球を知らない僕達に、卓球を教えて下さった木村先生や小田桐先生。そして超個性的な先輩がたにはとても感謝しています。先輩達も超個性的な部員でした。そのおかげで、三年間の部活はとても楽しくすごすことができました。こんな卓球部でもただ一つ心残りの事があります。それは一つ上の先輩達との約束を守れなかった事です。去年の中体連の予選。あと一人勝れば決勝トーナメント出場という

所からの逆転負け。更衣室での先輩の涙は今でもはっきりと覚えています。その時、先輩達と約束をした「中体連決勝トーナメント進出」。この約束を守れなかったのが今でも心残りです。だから先輩達には、この約束を果たしてもらいたいののでぜひ達成して下さい。

最後になりますが卓球を通していろいろな事を教えて下さった小田桐先生と木村先生。本当にありがとうございます。そして後輩達！怪我をしないで頑張ってください。そしてこの五稜中学校卓球部という船に乗り良き思い出を残してください。そして先生がた！大変かと思いますが後輩達を育てて、夢である「中体連決勝トーナメント進出」を目指して後輩達と一緒に卓球に打ち込んで下さい。



奇跡の三年間

男子バスケットボール部 高橋 佳也

このメンバーと一緒にバスケットができて、とてもよい思い出がたくさんできました。

一年生の時は基礎をしつかり学び、バスケットボールの楽しさを理解しました。

二年生の時は中体連でベスト8に入り、先輩が作りあげた土台を絶対に崩さないという思いを胸に、新チームでの活動が始まりました。新人戦は二回戦で敗れ、冬季は四位リーグで残り三十秒の間に十三点差を一気に逆転してみごと接戦をものにしました。その時のみんなの顔は今でも忘れません。

三年生になり、中体連が近くなり、練習により熱が入りました。しかし、熱が入り過ぎていつも怒鳴ってばかりでした。中体連は一回戦の場中との試合となり、絶対勝ってやるという気持ちで試合に臨み、全力を尽くしたけど負けてしまいました。この悔しさは、チームのみんなも忘れることがないと思います。

今まで指導してくれた須藤先生、試合の時に応援してくれた先生方、保護者の方、生徒のみなさん、そしてチームメイトには、とても感謝しています。本当にありがとうございました。



三年間

女子バスケットボール部 平野 ちひろ

二年の夏、三年生が引退して女子バスケット部新チームが発足した。

その頃の私達は「弱小」そんな言葉がびったりのチームだった。

新チームで初めて臨んだ新人戦。結果は惨敗。しかしその試合から得たものはとても多く、そこからゆっくりではあるが、少しずつそして確実に私達は力をつけていった。

予選は五位だったものの、五位リーグで少し遅い初勝利を飾った、冬季リーグ。

三年生になり、多くの新入部員を迎え、中体連までの残り少ない期間、初戦突破を目標に頑張ってきた。

そして中体連一回戦目。新しいユニホームを着て、初戦突破、そしてベスト8をかけて戦った旭岡戦。結果は勝利し、二回戦の対戦相手は強豪附属中。またその試合に勝つと次は優勝候補尾札部中とあるという、願ってもない最高の組み合わせとなっていた。

しかし、二回戦敗退という結果に終わった。悔しかった。言葉で書き表せないぐらいの思いが、胸にこみあげ涙が溢れるばかりだった。

この思いも、三年間仲間と過してきた大切な日々も、私は決して忘れない。最後になりますが、いつも応援してくれた先生方、保護者の方々。そして、三年間指導してくださった須藤先生。本当にありがとうございました。



俺たちはいつでも20人で1つ

男子テニス部 佐々木 恭兵

僕達男子テニス部は約3年前に、僕達3年生がどうしてもテニスがしたくて五稜中学校に男子テニス部を創ってもらいました。できた当時は女子に交じっての練習で、試合にも全く勝てないという弱いチームでした。でも、今ではとてもイイ後輩達がたくさんいます。仲間の数が多い・少ないでは部活の雰囲気全然違い、仲間はいいなあ”と実感しました！しかも、その仲間はみんながテニス大好き人間だから、テニスの事では、時には熱く自分の意見を言い合ってもめたこともあったけど、それも今では大切な思い出。とても充実していたと思います。この3年間の記憶は一生残るでしょう。



中体連や新人戦では、あと二歩で全道という準優勝。悔しかった。もう二度と同じチームでプレーできない仲間と全道に行けなかったのがすごく悔しかった。でも後輩達が僕達の夢を引きついでくれたから思い残すことはないです。最後に南條先生、テニスが素人の僕たちをこんなにも育ててくれてありがとうございます!!後輩のみんな、ずっと僕についてきてくれてありがとうございます!!そして3年生のみんな、3年間チームメイトでいてくれてありがとうございます!!!

テニス部のみんな、俺らのこと忘れんなよ!!!本当にありがとうございます☆

☆Shining Days☆

女子テニス部 相田 玲歌

テニス部で仲間と過ごした3年間、それは私にとって『青春』そのものでした。毎日、同じ空の下、熱中症になりかけながら練習した夏。凍えながら根性で乗り切った冬の寒い体育館での朝練。あの時は辛かった練習も、今思うと毎日が輝いていました。

私は心から部長をやれて良かったと思います。3年間仲間割れもケンカもしたけど、その度に少しずつみんなのことが理解できました。大変な時はすごく支えられました。予選敗退で終

わった中体連は流石に悔しかった。でもやり切った達成感みんなにあつたはずで、そして何よりも私達はこの部活で技術だけではなく、仲間を信じる大切さ”という素晴らしいことを学べたことを幸せに思います。テニス部で学んだことは一生の宝物です。絶対に忘れません。



最後になりましたが、指導して下さいました、日角先生、南條先生、菊地先生、本当にありがとうございます。後輩のみんな、こんな部長についてきてくれて感謝します。来年は男女共に優勝してね!!そして共に戦った6人の仲間、私は最高の仲間とプレーできたことを誇りに思います。みんなホントにありがとうございます☆一球入魂!!☆

活気あふれる剣道部になった一年でした
これからも継続することを願っています。

剣道部 上戸晃治

僕が剣道部に入ってから早いものでもう三年になる。入部から引退までの三年間は早かった。本当に短かったと思う。

今年、剣道部は大きく変化した。新入生を含む入部者が十人近くもなり、活気があふれた。去年は三人しかいない、暗いイメージがあったのに、新しく部員が入ってからはみんな声を出して、雰囲気自体が明るく、活気がすごかった。

さて、中体連も終わり、僕は引退し、新しい部長も決まった。鎌田先輩の代から続いた剣道部が、僕の代で終わらなかったことがとてもうれしく、これからもずっと続く事を心から祈っている。そして、今まで支えてくれた阿部先生、本当にありがとうございました。そして一・二年生の諸君、剣道部がこれからも続き、ますます活躍することを願っています。



汗と涙のWIND☆BAND

吹奏楽部 和泉千尋

「五稜中学校、銀賞」その言葉を聞いた瞬間、蛇口が開けられたままの水道のように泣いている私がいいた。涙を拭いても拭いても止まらなかった。それは私だけではなく、みんな同じだった。どんなに泣いても結果は変わらないとわかっていたのに泣き止むことができなかった。でも、今思うと、その涙には二つの意味があったと思う。

「悔しさ」と「達成感」の涙だ。たくさん流した涙の中に少しでも達成感の涙を流すことができたのは、これまでにない部員の頑張り、顧問の関谷先生のおかげだと思います。冗談が通じ、時には相談にのってくれる関谷先生だったからこそ、これまでの練習について来れたんだと思います。今まで本当にありがとうございました。

そして後輩のみんな☆

今まで頼りない先輩について来てくれてありがとう。来年は絶対金賞取って全道行つてね！応援してるよ！！これから嬉しいことも辛いこともたくさんあると思うけど、そんな時は泣いてスッキリしちゃえ！！涙は最高の意思表示なんだから。

今まで本当にありがとう！！みんな大スキ！！

○おわり○



楽しかったコンピュータ部

コンピュータ部 佐々木 康平

コンピュータ部は五稜中学校最大の部員数を誇る、部活です。

主な活動はコンピュータの自由検索とトランプなどで遊ぶ事です。コンピュータの自由検索では色々な事を調べたりします。コンピュータをやっていると一見静かそうに見えますが一部の人達はおしゃべりなどしていてとても楽しそうにしています。中には音量を高くして音楽を聞いている人もいました。トランプなどの遊びは、みんなで楽しくにぎやかに遊んでいます。コンピュータ部は暗いイメージがありますが、とても楽しい部活です。

あと、パソコン検定の資格を取る事も出来ます。今、パソコン検定の資格はとても役に立つ資格です。

ぼくは、このコンピュータ部に入ってからとても楽しかったです。顧問の小田桐先生、山口先生今までありがとうございます。ぼくはこのコンピュータ部で作った思い出を忘れません。本当にありがとうございます。



手芸部の思い出

手芸部 西村 果歩

私は半年間この部活で活動してきました。活動日数や自分の都合であまり参加はできませんでしたが、とても楽しい部だったと思います。

手芸部は私が入部する前から部員があまりいなく、私を含め三人しかいませんでした。それでも明るくて、仲の良い部でした。

入部して何ヶ月か経った頃に部員の一人が転校することになり、転校してしまふ何日前に三人でキーキを作りました。出来はあまり良くなかったですが、とても楽しくて、たぶんこの部活動で一番私が心に残った事だと思っています。今はもう二人だけで活動していますが、相変わらず仲良く活動が続いています。これからもそう続けていきたいです。

最後に、いろいろと手伝って下さった先生方、どうもありがとうございます。そして、大山先生。いつも優しく見守って下さって本当にありがとうございます。これからもご指導等、よろしくお願ひします。



栄誉を讃えて

インドアーソフトテニス大会

個人戦

3位 西村正太郎・玉川 信也 2年

ソフトテニス新人戦

男子団体戦 優勝(全道大会ベスト8)

千葉 翔太・堀田 貴雅・玉川 信也

西村正太郎・山形 匠・山本 幸平

齋藤 佑成・山内 淳

女子団体戦 3位

中村菜津美・渡辺あかね・八木橋由梨名

長谷 優・細貝 友香・尾見 遥奈

渡部 里美・横谷 美穂

函館市スポーツフェスティバル綱引き大会

3位 3年女子 ザ・スーパードラビット

函館市中学校吹奏楽コンクール

銀賞 吹奏楽部

青少年芸術奨励事業音楽部門

入賞 相田 玲歌 3年

HBCコンクール道南地区

最優秀賞 相田 玲歌 3年

相田詩愛里 1年

高円宮杯 第57回全日本中学校英語弁論大会道南地区

優秀賞「再会」相田 玲歌 3年

優秀賞「野外劇」中谷 詩世 3年

函館市中学校社会科自由研究コンクール

金賞 鎌田 基希 1年

英語祭

アイデア賞「書道発表」

藤原 愛理 2年

細貝 友香 2年

高村 由莉 3年

井上登紀子 3年

アンサンブルコンクール

クラリネット6重奏 銀賞

金管8重奏 銀賞

新春書初め大会

特選 井上登紀子 3年

小・中学生の税に関する書道

北海道税理士会函館支部長賞

住山 侑依 1年

函館商工会議所会頭賞

秀作 井上登紀子 3年

秀作 今野 邑子 1年

秀作 藤原 愛理 2年

税に関する週間の書道展

佳作 今野 邑子 1年

特別賞 住山 侑依 1年

中学生人権ボスターコンテスト

奨励賞 林 愛美 3年

函館市明るく選抜ボスターコンクール

佳作 干場 亮佑 3年

ごみのないきれいな街づくり標語入りボスターコンクール

入選 相田 玲歌 3年

門傳 雪菜 2年

佐藤 美咲 2年

中体連陸上競技大会

100m 4位 菊地 慶浩 3年

200m 6位 菊地 慶浩 3年

800m 8位 佐藤 美菜 1年

走り高跳び

2位 記録1m40 平野ちひろ 3年

全道陸上競技大会(室蘭市)

走り高跳び

8位 記録1m39 平野ちひろ 3年

中体連ソフトテニス大会

団体戦 準優勝

佐々木恭兵・細越 大毅・加藤 彌弥

岩館 大輔・千葉 翔太・堀田 貴雅

玉川 信也・西村正太郎

個人戦 3位 佐々木恭兵・加藤 彌弥

中体連剣道大会

女子団体 2位

先鋒 今野 邑子・次鋒 東館まりん

中堅 深澤 麻未・副将 池田 沙耶

大将 工藤 渚

個人戦 準優勝 深澤 麻未 3年

支庁大会

個人戦 4位 深澤 麻未 3年

美術作品集



3年A組 中江 麻里



3年B組 斉藤 朱夏



3年B組 林 愛美



3年A組 高村 由莉



3年B組 相田 玲歌



3年B組 金 尚人



3年A組 干場 亮佑



3年B組 川田 仁美



3年B組 西崎 裕介

思い出をこのページに残して



平成17年度
卒業生



Imagine there's no heaven
It's easy if you try
No hell below us
Above us only sky
Imagine all the people
Living for today....
You may say I'm a dreamer
But I'm not the only one
I hope someday you'll join us
And the world will be as one

—若さの可能性を信じて—



平野ちひろ	和泉 千尋	岩井ひかる	工藤 渚	遠藤由紀子	松岡由希子	中江 麻里	名平 忠伸	菊地 慶浩	工藤 純一	中村 康平	佐藤 慎	西村 恭輔	鶴 先生	石名坂先生
武田 先生	中谷 詩世	中西 愛	中村 遙香	奥山 紗貴	久保田早貴	高村 由莉	中町 勇貴	高橋 佳也	上戸 晃治	前川 裕一	松本 裕也	竹澤 公介	先生	
佐々木麻美	村川 緑姫	山田 絵理	土屋 悠乃	井上登紀子	相馬 美香	中谷教頭先生	須藤 先生	伊藤 寿弥	干場 亮佑	伊藤 孝明	林 哲	山本 翔	山田 和哉	

3A

我らが3A組

須藤 聡

我々が三年A組は、男子十九名、女子十八名、そして担任須藤先生の計三十七名の『元氣いっぱい♥笑顔いっぱい♥楽しさいっぱい』の一人、素晴らしい個性と本能を持っているクラスです。

例えば、スポーツが得意な人、頭の良人、オシャレな人、自分の意志を持っている人、心配りが上手な人、責任感がとても強い人等々。この仲間が居たから、修学旅行は楽しく過ごせたり、体育大会や文化祭の合唱コンクールでは、団結力が発揮され、成績よりも大切な物を得られたと思います。

こんな3Aでも、他の教科の先生からは、「うるさい! 静かにしなさい!」と言われ続けています。

そんな私達をまとめてくれたのが、須藤先生です。先生は、どんな時も一人一人に熱心に正面から向き合ってくれました。

たくさんさんの思い出と、皆に出会えた偶然に感謝♡これから進むそれぞれの道で努力し、三十七通りの夢を咲かせよう!!

卒業生一人一言

3-A編

かけがえない仲間たち。

㉒ ㉑ つりきたねえパンツどうした!? なあよつち!?

この三年間に会えた思い出は一生の宝物。

㉓ とりあえず純にわたしたよ!? なあもん!? ああん

㉔ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

出会いと別れの多かった3年間。

長いようで短かった3年間。

㉕ か、竹あのパンツどこやった!? なあ竹澤!?

㉖ うれなかつたつけ!? なあ中町!?

ボロボロ校舎だったけど、結構楽しめた!

㉗ うはいてなかつたつけ!? なあ前ちゃん!?

義務教育の過程を終了した事を、されました!

元氣ハツラツ!!?

五稜中よ、さようなら!

楽しいようでくるしい3年間。

㉘ てどつちのユウよ!? なあ松本! (笑)

㉙ とりあえず明日探そうよ!? なあ恭兵!?

いろいろな経験をした3年間

いろいろな行事があつて楽しかった3年間

㉚ どう先生ってカッコいいよね♡ ひかるん♡ ←

楽しい事も大変な事もいっきに過ぎた3年間!!

伊藤 孝明

伊藤 寿弥

上戸 晃佑

菊地 慶浩

工藤 純一

佐藤 慎

佐藤 燎

高橋 佳也

竹澤 公介

中村 康平

中町 勇貴

名平 忠伸

西村 恭輔

林 哲

干場 亮佑

前川 裕一

松本 裕也

山田 和哉

山本 翔

和泉 千尋

井上登紀子

㉚ かなかハンサムだねえ♡♡おつく♡←

3年間、楽しい思い出をありがとうございました!

㉛ くん: そおだねえ: (苦汁) あはは♡久保♡←

㉜ ミの瞳にカンバイ♡ドンペリおかわり♡まみ♡←

㉝ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

3年間楽しかったです☆

すべての時代に「幸」あらんことを...

良い経験をさせてもらったぞ五稜中

ラブリー♡聖子♡ 大好きよ♡

♡村川さああん!? これムラムラしてない!?♡

㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

つばさをひろげ、未来へはばたこう!

中村さん!? ムラムラ祭りや——!!!

㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㊼ ㊽ ㊾ ㊿



岩井ひかる

遠藤由紀子

奥山 紗貴

久保田早貴

佐々木麻美

相馬 美香

高村 由莉

土屋 悠乃

中江 麻里

中西 愛

中村 遥香

中谷 詩世

平野ちひろ

松岡由希子

村川 緑姫

山田 絵理



武田 先生	深澤 麻未	田原明日美	藤代 美咲	加藤 麻里	相田 玲歌	佐々木ゆい	佐々木恭兵	金 尚人	細越 大毅	佐々木康平	田中 究	岩館 大輔	石名坂先生
藤田 春菜	氣仙 友美	櫻庭 智絵	木村 早希	竹田 利業	山本 友美	樋口 敬祐	筆村 崇充	森 裕和	加藤 彌弥	片桐 亮	出村 知大	鶴 先生	
川田 仁美	林 愛美	斉藤 朱夏	木村 綾	川村まどか	濱野 夢菜	中谷教頭先生	南條 先生	小越 一幸	西崎 裕介	宮崎 雄	栗田 大地	町田 浩平	

3B

3年B組☆はぐれ!!

南條綴

こんにちは☆これから3B紹介始めます!!
 我々が3Bは、男子18名、女子18名の家族
 のように仲の良いメンバーと、純情派な恵二
 で構成された、史上最強なクラスです。(キャ
 ビックリ!!) そんな、家族のような私達をま
 とめる、お父さんらしくないお父さん、恵二
 は、はぐれ刑事のように純情派で、合唱コン
 クールで全校グランプリをとった時は、ポロ
 リと涙したことも。そんなことより(エッ
 ?!)、私達の武勇伝を聞いて聞いて♡その壱
 ☆体育大会でめっちゃ頑張ったけど、惜し
 くも第2位!!その武☆恵二も涙した、合唱コ
 ンクール!!金賞、ベストタクト賞、ベストビ
 アノ賞と、三冠をみごと達成☆これも、我ら
 が恵二のおかげ!!(エッそんな事ない!!)いっ
 ぱい思い出ができたねえ。そんなにぎや
 かな3Bとも、そろそろお別れ!!笑いあり、涙
 あり、もつこりありの、長いようで短かった
 1年間。たくさん思い出というおみやげを
 持っしめくりましょう。南條先生!!本
 当に本当にありがとうございました!!

卒業生一人一言

3-B編

長かったような短い中学校生活がやっと終わった。

あつというまの3年間

なんかいろいろあった中学校

楽しかった毎日

いろんなことを学んだ3年間。

③つとあいつがわかってんじゃね?!なあ樋口

うれしい事もあり悲しい事もあった3年間。

現実を見せられた3年間。でも、楽しかった。

人生の中であつというまの3年間だった。

夢に向って一歩

不安の一年生、余裕の二年生、気づいたら三年生

①か誰だっけ!?町田じゃねえの!?なあ町田!?

みんなずっと友達で

三年間どうもお世話になりました。

⑦ア!?勇か雄だべや!?なあ勇!?

③つにオレはいてねーし!!雄ぢやない??なあ宮崎!?

⑩・・・今、おれのばあちゃんが洗ってた。笑

未来へ向かって

②いすき♡だよね!ちんすこう♡スタート♡まり

⑥のちをかけて!!☆ちんすこう☆♡ちよもみ♡♡

3年間ありがとう。

川田 仁美	加藤 麻里	相田 玲歌	森 裕和	宮崎 雄	水野 勇	町田 浩平	細越 大毅	筆村 崇充	樋口 敬祐	西崎 裕介	出村 知大	田中 究	鈴木 文章	佐々木康平	佐々木恭兵	金 尚人	栗田 大地	加藤 彌弥	片桐 亮	岩館 大輔
-------	-------	-------	------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	------	-------	-------	------	-------

「初めまして」・・・あれから1年ありがとう。
④き②♡君が?!ちんすこう☆♡あやちゃんへ♡
③みなら出来るさYou can it! ♪やき
④も色のちんすこう♡桜満開♡♡♡ちえ
(略) 芸術は爆発だー!!

②てか、おいしくない!?ちんすこう♡♡ゆい
③これはやっぱり!?ちんすこう♡♡たけこ
①バーシブルパンツ♡裏も表も大丈夫♡田原ビツト
④りながの天使はリバーシブルパンツ♡♡ひめ
③うつつあんぜん!!みんなのちんすこう!!♡麻未
Art is explosion!

②て!!食べて!!私のちんすこう♡♡エロみさき
⑥んすこうも大喜び★エンド・オブ・ちんすこう
猫の眼で青梅を疾走 大切な気持ちをおぼえたよ
みんなありがとう。



山本 友美	藤田 春菜	藤代 美咲	深澤 麻未	林 愛美	浜野 夢菜	田原明日美	竹田 利菜	佐々木ゆい	桜庭 智絵	斉藤 朱夏	木村 綾	木村 早希	木村 友美	気仙 友美	川村まどか
-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------

修学旅行



修学旅行第一日目

名 平 忠 伸

五月十六日早朝六時十五分3年生達は函館駅に集合、みんな待ちに待った修学旅行で気持ちが高揚してしまい、出発式で先生の話を聞かない生徒も少なくありませんでした。

そのまましくはそれ以上のテンションで乗車、一度乗りかえをして十一時過ぎに仙台に到着。仙台では約三時間の班行動があつて、各班で決めてあつたお店で仙台の美味しい食事を楽しみ、仙台を観光し、仙台を心に刻み、バスに乗って出発。

二時過ぎに塩釜から遊覧船で松島へ向かう。この遊覧船ではカモメの餌付けができ、船では観光客相手に通常より高い値段でお菓子を売っていました。

餌付けを堪能し終えた頃、松島に到着。ガイドさんの説明を聞きながら瑞巖寺を見てまわり、趣きのある杉林を通り、身も心も澄みきったまま写真撮影。誰一人としてカメラに魂を抜かれることもなく松島を出ました。

六時頃、秋保温泉蘭亭に到着。旅館での注意からギリギリはみでつつ食事やイベントを楽しみ、一日の疲れをお風呂で癒し、二日目のために夜更かしは自粛。夜中に大声で歌って怒られた奴がいたとかいいないとか。そんなこんなの一日目でした。



出だし好調!!

前川 裕一

誰もが進学してから、口々に騒ぐイベントの一つである「修学旅行」がいよいよきちやいました!!(笑)とにかく楽しかったので、ありのまま楽しさを伝えたいと思って書きます!!

一日目は、僕のような田舎者にとって、地図でしか見たことのない所に行きました!!宮城県は仙台。

牛舌が有名なこの街へはまさに牛舌の為なのか、昼食の為だけに行了きました!!そして、一歩街にでると今まで住んでる世界とは違って一瞬、マジで止まりました。(笑)

でも、見た事の無い所を歩くのはちよつと楽しいです。見た事のない人、景色、街並み!!ただ飯を食うのに少し疲れました。ハイ(笑)

そして、どんな時も一日をしめくくる最高の場所はホテルです!!旅の途中の話もいいですが、やっぱりホテルでしょ!!班長だった僕は班員をしきりながらもようやく、ホテルに着き、その日の事や、残りの旅行を考えつつも、とにかくはしゃぎました!!(笑)でも少し気を抜きました!!先生、班員さん達すいませんでした。こんな作文ですが、楽しい雰囲気伝わればと思います。最高の初日でした!!ありがとうございます!!



中尊寺

岩井 ひかる

私たちは修学旅行の二日目、中尊寺に行きました。最初は、あまり行きたいとは思っていませんでした。お寺に行つて金色堂を見たり説明を聞いたり…。何が楽しみとか全くなかったし、何故行くのかとかすごく疑問でした。

嫌々、うす暗く長い坂道を、期待を全く胸にせず登りました。登つてすぐ、一つの建物が見えました。その中に入ると、線香のおいが漂っていました。しかし、何よりもその建物の中にあつた金色堂の輝きは目に焼きついたまま忘れませんでした。また金色堂の中にはミイラや遺骨が納められているそうです。今とは全く正反対の時代に、今とはほぼ同じような技術があつたんだと思うと素晴らしい。としか言いようがありません。初めは嫌々だったけど、見たあとは、「見てよかった。またいつか機会があつたらゆつくりと見たい。」そんな思いになれた中尊寺をあとにしました。



自主研修の思い出

田原 明日美

修学旅行3日目、岩手公園をスタートとして自主研修をしました。私達の班は、「もりおか啄木・賢治春館」と「旧宣教師館」に行き、残った時間は駅で楽しもうという計画でした。

しかし、地図を見ながら歩いたのにも関わらず、すぐにみんなで迷子になってしまいました。歩いている人に道を尋ねたり、何度もみんなで話し合ったりして、無事に目的地にたどり着くことができました。それから、各見学地でたくさんのお話を学び、道に迷うことなく最終目的地の駅に着くことができました。駅に着いてからは、班の中で2人1組のグループにわかれて、お土産調べをしました。お土産をたくさん買うこともできてとても楽しかったです。

自主研修はハプニングもたくさんあったけど、それ以上に楽しいことばかりでした。一人では不安なことや、出来ないこともみんながいてくれたおかげで何も心配せずに頑張ることができました。自主研修をした時間は短かったけど、本当にたくさんのお話の思い出を作ることが出来て良かったです。



自主研修

金 尚人

ぼくは、修学旅行での出来事の中でも一番に自主研修での出来事が心に残っています。自主研修では盛岡の町で班の人たちと一緒に昼食を食べたり、修学旅行の前に予め班で行くと決めていた旧中村家や鬼の形がある三ツ石神社などに行き、盛岡の町の文化や特色がよくわかりました。

ぼくたちは旧中村家へ行く時、初めて訪れた地域だから仕方ないかもしれませんが、地図を見ても道がよくわからなくなっていました。困っていたので、ぼくはその付近を歩いていたおばさんに道を尋ねました。すると、おばさんは親切に道を教えてくれて、その上途中でぼくたちと一緒に来てくれました。おばさんといろいろな話をしている間、その地域の人たちがぼくたちに優しく話かけてくれました。

そして、ぼくたちは、親切なおばさんのおかげで旧中村家へ着くことができました。ぼくは修学旅行で地域の文化や他のどんなことよりも大切な、人の優しさや人に親切にすることを学びました。

班の人たちとの昼食やホテルでいろいろな話をしたりして、修学旅行はとても楽しかったです。



岩山パークランドにて

木村 早希

修学旅行三日目、盛岡市での自主研修が終わり、私達は岩山パークランドへ向かいました。三日目で疲れているはずなのに、遊園地ということもあって、みんなハイテンションで元氣いっぱいでした。

岩山パークランドには、座席がぐるぐる回転するジェットコースターや、体が一回転して一番上で逆さまに止まるアポロがありました。他にも、ゴーカートやゲームコーナー、迷路など色々な乗り物がありました。貸し切り状態なので、人気だったジェットコースターやアポロには何度も乗り時間を忘れるほどはしゃぎました。

あいにく、途中で雨が降ってしまいました。帰りのバスでぐったりするほど、思う存分楽しむことができたと思います。そして、修学旅行での思い出の一つとなったと思います。

今年行く後輩のみなさんも、岩山パークランドでたくさん思い出を作ることができると思います。存分に楽しんで来て下さい!!



座禅体験

岩館 大輔

修学旅行二日目、座禅体験をするために毛越寺へ行きました。毛越寺の中はとても広くてきれいで、心がなごみました。僕は初めての座禅体験なので、ドキドキワクワクしました。座禅をする時に、精神を集中させていないといけません。長い板で叩かれた人を見ていたら、すごく痛そうなお音が聞こえ、「痛いだろうな、叩かれたくない」と、心の中で必死に、30分間位頑張って座っていました。

正直な所、こんなに頑張ると思っていてもいなかったし、疲れ果ててしまいました。座禅が終わる時に、足がしびれて下半身に負担がかかり、歩くのに大変でした。

だけど、大切な体験ができ、これまでにない事を学べてよかったです。

本格的な座禅体験、一生に何回体験できるかわかりません。天候にも恵まれ、見るものすべてが、心に残りました。とてもいい体験でした。

今年行くみなさんも、ぜひ座禅体験をやってみてほしいと思います。



宿泊研修



宿泊研修の思い出

二年A組 安澤 しおり

9月15・16日に宿泊研修がありました。1日目は、開陽丸と江差江差追分に行きました。開陽丸は、船の説明や海から出てきた物などが展示してありました。その日はとても天気がよく海に日差しが反射して、開陽丸&海が美しく見えました。江差追分は、1分ぐらい呼吸しないで歌う事は、すごいと思いました。2日目は、大沼に行ってバター作りを体験しました。最初思ってた事は、すごく時間がかかると思ってたけど意外と時間もかからず、おいしくできあがりました。この後はバスに乗り、皆でおかしを食べ、ゲームなどをしながら五稜中学校へ向かいました。宿泊研修はあつという間だったけど、皆が楽しく・協力し合ってたので本当によかったです。

二年A組 磯部 楓

9月の15日と16日に宿泊研修がありました。宿泊研修で一番楽しかった事は、夜に行った学年レクのクラス対抗男女別ドッチボール大会です。10分間の試合を4試合行いました。次に楽しかったのは、江差での自主研修です。僕たちの班は、旧檜山爾志郡役所、中村家、姥神大神宮、法華寺、戊辰の役戦死者の墓、生涯学習センターの順に回りました。江差の街は、とても坂道が多くて大変でした。その中で特に思い出に残ってるのは、法華寺の八方睨みの龍で、とても迫力があってすごびっくりしました。そして、その日の夜は友達たちと話をしながら眠りました。この夜は今までの中で一番印象に残る夜となりました。

宿泊研修に行つて

二年A組 玉川 信也

僕は9月15日、16日に宿泊研修に行きました。

1日目江差町に行き開陽丸を見学し、意外にきれいで、びっくりしました。

昼食は、かもめ島でとりました。かもめ島から見えた景色は、きれいでした。

それから、グリーンピア大沼に行き、夕食とった後、学年レクをやり楽しかった。

2日目は、大沼でバター作りをやり、初めての経験だったわりに、うまくできた。

無事、宿泊研修も終わり、いい思い出になりました。

二年B組 荒野 梨沙

私達は九月七・八日に宿泊研修へ行く予定でした。でも、台風の影響で、十五、十六日になってしまいました。宿泊研修の自主研修では、道に迷いながらもそれぞれの目的地に着くことができ、五勝手屋でようかんなどをもらえ、班のみんなよろこんでいました。そして、自主研修が終わわり、ホテルへ行き、ご飯を食べて、ドッチボールをしました。とても楽しかったです。そして、お風呂で汗を流しました。夜は、なかなか眠れなく、次の日はけっこう眠かったです。最後に、部屋の確認を何度もし、忘れものがありそうで心配でした。ホテルの前で写真を撮って、大沼でバターを作ったら、おいしかったです。今回の宿泊研修を来年の修学旅行にいかしたいと思います。

二年B組 池田 沙耶

9月15日・16日は、宿泊研修でした。本当は、7日・8日でした。が台風で延期になってしまいました。宿泊研修の1日目は、開陽丸に行きました。そのあと、江差追分を聞きました。江差追分はすごく歌うのがむずかしそうな歌で思い出に残りました。自主研修で私は、法華寺などに行きました。法華寺の天井には、大きな龍の絵があつて私は少しびっくりしたけど、すごく印象に残りました。2日目は、バターを作りました。私はバターが苦手だけど、自分でつくったバターは、食べる事が出来ました。帰りのバスでは、疲れていたの、学校に着くまでずっと眠っていました。この2日間の宿泊研修は、とても楽しくて、思いでに残る宿泊研修でした。

二年B組 堀田 貴雅

9月15日、16日に宿泊研修がありました。1日目、江差に着き、開陽丸を見学した。開陽丸では、開陽丸の歴史や、大砲などを見ました。次にかもめ島に行き、弁当を食べ、追分会館に行き、江差追分を見学しました。江差追分が終わわり、自主研修が始まった。旧桧山爾志郡役所には、留置所などがあり、けっこうすこかった。

ホテルでの時間は、あつというまにすぎてしまい、グリーンピア大沼を出発しました。そして、大沼公園に到着し、フレンジーベアというところで、バター作り体験をしました。バター作り体験は意外と難しかったけど、とても楽しかったです。1泊2日という短い短い期間の研修だったけど、いい体験になったと思います。

「函館を知ろう」調査活動をふりかえって



◎今回の活動を通して身につけたこと

- ・見学やインタビューをした時、ていねいに説明してくれるのを上手にまとめること
1 A 沖野 未央
- ・敬語の使い方が身についた。知らない人と大きな声ではつきりとしやべることができた
1 A 大川 芽菜
- ・時間の大切さを身につけた
1 A 武井 翼
- ・礼儀、言葉づかい
1 B 葛西 里映
- ・五稜郭タワーの知識、ワードの難しさ、友達と一緒にがんばれること
1 B 田中 遼馬
- ・グループで見学からまとめ、発表まで一緒にやって、友達の見と自分の意見をまとめられるようになりました。

- ・いろいろな人にインタビューしたので、たくさんの人と話しました。その中で、言葉づかい、礼儀に気をつけて身についたと思います。
1 C 藤田 明穂
- ・安全に調査活動すること
1 C 齊藤 藍子
- ・わかった資料をどのようにレポートにまとめるかということ
1 C 藤田 和也

◎今回の活動で一番心に残ったこと

- ・雨にぬれて、びしょびしょになったこと
1 A 三上 圭純
- ・サンドブラストを体験したこと
1 A 田賀 茜
- ・時間がないかと思ってドキドキしたこと
1 A 相田詩愛里
- ・放課後、遅くまで残ってみんなの絆が深まったことです。

- 1 B 川島 優樹

・五稜郭タワーの上に行って見たこと

1 B 野島 友春

・実際にラッキービエロに行つて、インタビューしたことが初めての体験だったので一番心に残りました。

1 B 福田 悠美

・雨が降っていてすごく寒かったこと。

1 C 木津谷 奏

・昔、建てられた建物が今でも多くの人に愛されていると実感した。

1 C 伊藤 綾香

・インタビューや話しかけた人がみんな優しくしたこと

1 C 伊藤 綾香

・活動を計画的に行なえた。みんなで協力して活動できた。

1 C 安保 詩織

◎学習全体で自分や自分以外のことで再発見したこと

・五稜郭について知らないことが多かったことに気がついた。

1 A 佐々木 一興

・五稜郭の形の理由などがよくわかった

1 A 本村 真帆

・みんなをまとめて一つのことをやるむずかしさと、みんなで一つのことをやりとげたうれしさ

1 B 吉田 康彦

・いろいろな挑戦ができること。五稜郭の歴史の重さ

1 B 荒田 大地

・あいさつができるようになった。みんなで協力してできたこと

1 C 伊藤 洋道

・函館で有名な土方歳三について、たくさんのがらがくわしく知ることができてよかった。これから函館に生まれたことにほこりを持ちたい。

1 C 山内なお子

◎感想

・函館で有名な土方歳三について、たくさんのがらがくわしく知ることができてよかった。これから函館に生まれたことにほこりを持ちたい。

1 A 工藤 有史

・五年生でも函館の歴史を調べたが、物足りないと思っていたので、とてもよかったです。特にペリーはなぜ日本にきたのかや函館年表を調べたかったのでよかったです。また機会があればこれよりもっとたくさんさんのことを調べたいです。

1 A 吉田 茜

・土方について調べてみたら難しい文字や言葉などがでてきて大変だった。時間がなくて箱館戦争についてあまり調べられなかった。調べられる機会があったら今よりよい作品を作れるよう努力したいです。

1 B 菊地 洋介

・最初は何となく調べてみたいという気持ちでやっていましたが、調べてみると意外に書くことも多くて、ちょっと大変でした。でもやりがいのある活動だったのでよかったです。

1 B 穴戸 優

・この学習で今まで知りたかったことを知れて良かった。自分に欠けていた礼儀ができてよかった。みんなで協力してやれてよかった。

1 C 岡河 美里

・大変だったけど、友達と協力するということの大切さがよくわかった。

1 C 富士 夢人



1年A組 学級プロフィール



一年A組

明るく楽しい1-A

後藤 昌樹 級

私達のクラス一年A組は、とても明るく元気なクラスです。

去年の四月にこのクラスになった時には、他の小学校から来た子
同士で席がとなり合わせになったり近かったりで、みんな楽しくや
れるか不安でした。でも、お互いに勇気をだして話しかけたり、
いっしょに移動教室をしたりして、今ではみんな楽しくやっています。

担任の後藤先生もすごく楽しくて、ことわざをゲーム形式で教え
てくれたり、休み時間にはクラスで冗談を言ったり、体育館でみん
なと遊んだりしてくれます。冬休みには、部活が始まるまでの間勉
強を教えてください、とても優しい先生でもあります。

クラスのみんなは楽しくて、いじめもないし、休み時間はふざけ
合って遊んでいます。時々授業中にもふざけたりして怒られたりし
て、みんなとてもいい友達です。

1-Aは先生も生徒も本当に楽しいクラスです。

怒ったり怒られたり、片方がふざけたり互いにふざけ合ったり、
何をするにも浮き沈みが激しくて、おもしろすぎておなが痛くな
るときもあります。

でも、とても一生懸命で、体育大会では、クラス対抗リレーでみ
んな協力して一位をとることができました。でも、長縄では朝練の
成果があまりだせず、三位という結果でみんな悔しがりました。

私達1-Aのモットーは、一致団結です。私達はみんな、その言
葉どおりどんなときでも、一致団結して頑張っています。

1年B組 学級プロフィール



一年B組

元氣すぎる1B

山口 啓子 級

私達のクラスは元氣すぎる（うるさすぎる!?）男子18人、女子17人と髪形がチャームポイントの山口先生を合わせ36人の楽しいクラスです。毎日のように、教室中に笑い声のまじった会話が響きわたっています。

一年B組は、校内体育大会で、おしくも二位という、悔しい結果で、終わりましたが、それを見返すように文化祭合唱コンクールでは、今までにない「団結力」を見せつけ、金賞に輝きました!!練習では、やる気をなくし、練習にならないことも多くありました。その度に、先生の喝を受けその結果がこの賞につながったと思います。そんな1Bにも欠点があります。それは、けじめのないことです。授業にも集中出来ず、担当の先生方に、とても迷惑をかけています。後少しの期間ですが、これを1B最大の問題点とし、これから成長するための、大事な課題にして、解決していけるよう、皆で協力していきたいです。

最後に、こんなクラスの担任、「山口カット」で有名(?)な山口先生について語りたいと思います。

先生は、「年をとるなら、完璧な白髪になりたい」と言っている少し変わった理科大好きな先生です。そんな先生とこれからも協力して、すばらしいクラスをつくりあげていきたいです。

1Bでいられるのは、残り少ないですが、皆で楽しく、元気に過ごしていきたい、二年生へむけて、大きく一步を踏み出し、前進していきたいと思います。

1年C組 学級プロフィール



一年C組

☆キム☆と34匹のジェリー

木村 麻岐 級

私達1Cは、毎日教室がにぎやかで良く言えば「元気で明るく」悪く言えば「うるさい」クラスです。

そして1Cのリーダー木村先生は、生徒のイジられキアラです。まあそんな木村先生も怒る時は怒ってくれる良い先生です。(少々かつ舌が悪いけど)

1Cの特徴は皆仲が良くいつでも協力しあう最高のクラスです。体育大会ではタイヤリレー、大縄などの団体競技は1位という素晴らしい結果が残せました。(金賞には輝けなかったけど泣)

合唱コンクールではこれも金賞には輝けなかったけど、どのクラスよりも朝練には特にはげみました。

「金賞」という文字がないのはとても悔しい私達ですが、一番悔しそうだったのは木村先生でした。顔に似合わず結構熱血です!!

あっ!!そういうえば全校生徒も知っているとおり、1Cのリーダー木村先生は今年11月3日に祝♡結婚♡とてもおめでたいことです。本当におめでとうございます。♡奥さんの綾香さんはいやし系で本当に美人です。いつまでもお幸せに!!

そして今なんやかんやで3月です。1Cの皆ともお別れ泣クラスがえです。こうして皆といる時間は減っているのです!!皆はクラスがえしても1Cです。そして1Cの思い出は1人1人の心に刻まれています。永遠に消えませんか!!

私たちは2年生になっても良い思い出をたくさん作っていききたいです。

2年A組 学級プロフィール



二年A組

史上最強な元氣と、
地上最強な友情が
たくさんあるクラス

日角 朱実 級

私達のクラスは男子18人、女子19人の元氣で明るく、笑顔の絶えないクラスです。

今年はいろいろなことがありました。まずは校内体育大会優勝！個人種目では1人1人が自分の力を出しきり、団体種目はクラス全員が一つになって頑張りました。その中でも特に長縄では全校1位の回数を跳び、とても嬉しかったです！文化祭の合唱コンクールでは金賞は取れませんが、今まで練習してきた成果を発揮することができてよかったと思います。そしてやっぱり宿泊研修！！泊2日と言う短い時間でしたがみんなで写真を撮ったり、夜遅くまで話をしたり……。でも、あまりにも寝るのが遅くて何回も先生達に注意されてた人もいました(笑)しかし一泊二日、友達と過ごせて本当に楽しかったです!!でもその後の自主研修のまとめには時間が足りず、皆かなりいいえいとめていました(笑)

私達はもうすぐ3年生になります。この2-Aの皆と過ごせるのもあとわずかです。残りのわずかな時間を楽しみ、笑顔で過ごしたいと思います。3年生、最上級生になります。そして「最後の体育大会」、「最後の文化祭」、「最後の中体連」など「最後の」行事がたくさんあります。全ての行事で全員が自分にとって良い結果になればいいなと思います。それに中学校生活も「最後の」1年になるので、中学校生活を終えた時に皆が笑顔で「楽しい中学校生活だった!!」と言えればいいなと思います。

2年B組 学級プロフィール



二年B組

平凡なクラス

関谷 正二級

2年B組は、先生と生徒が友達のように仲の良いクラスです!!

まずは、担任の先生の紹介です。担任は、関谷正二様々です(笑)先生は、少し(!?)ボッチャリ系です(笑)いつも先生の体重の心配をしているクラスです(笑)先生は、ときには優しく、ときには厳しい先生です。

生徒は、とても明るく男子は先生とじゃれあっていて、女子は、休み時間に先生と話したりしています。そんな感じの平凡なクラスです。しかし、明るいのはいいのですが、多少けじめがないのが欠点なのです。2年B組の一年間は、あつという間でした。

体育大会では、長縄で練習より多く二十五回も跳ぶことができました。この時、クラスが一つにまとまったなあと思えました。優勝は出来なかったけど、クラスが団結できてとても良かったです。

悔しさをバネに、文化祭合唱コンクールでは、厳しい練習に耐えてきたお陰で、見事金賞受賞やベストタクト・ピアノ賞を受賞することができました。文化祭演奏で、先生がベースを弾いていたのが意外で面し良かったです。

この一年間で3人の仲間が転校してしまい、人数が少なくなっていました。もう、このクラスでいられるのも、あと少しの間です。あと少しの時間を大切に、2年生を終えた時に、「このクラスで良かったなあ」って思えればいいです。

先生、今年の体育大会のタイヤリレーのためにダイエット頑張ってください!!(笑)目指せ、七十キロ以下まで体重を・・・(笑)

生徒会時集

予想もしないポスター佳作

三年 干場 亮 佑

二年生の時に、美術の授業でゴミ問題のポスターか選挙ポスターのどちらか選んで、ポスターを描くという課題がありました。かき方の説明を受けていた時、すぐに描く言葉やイラストが頭の中で決まり選挙ポスターを描くことにしました。作業は順調に進み、そしてポスターが完成した。自分としてはとてもいいポスターができました。また、着色もきれいにすることができました。

そして3年生になり、ポスターのことも忘れていました。

ある日、美術の先生から僕の描いたポスターが佳作として選ばれたとの報告を聞きました。その時僕はびっくりしました。まさか選ばれるとは思っていませんでした。そして美術の先生と一緒に函館市役所へ行きました。そこで賞状とメダルを受け取りました。さすがにメダルは重かったです。僕にとって忘れられないできごとでした。



青少年芸術コンクール・音楽部門に出場して

三年B組 相田 玲 歌

私は、今回初めて「青少年芸術コンクール・音楽部門」に出場しました。このコンクールは、小三〜高校生までがピアノ・楽器・独唱など様々な音楽で年齢・分野を関係なく競い合うコンクールです。以前からこのコンクールがあるのは知っていましたが、自分自身一歩踏みだせませんでした。しかし、今年は中学校生活最後の思い作り、そして自分の力をためす良い機会だと思い出場を決めました。練習期間は約一ヵ月しかありませんでした。まずは、選曲でした。

私は専門的に歌を習っているわけではないので、今もっている技術を最大限にいかせる日本の童謡「荒城の月」を選びました。中学生になると外国の曲を歌う人がほとんどですが、あえて日本人の「心」でもある童謡で「聞いている人の心に残る歌」を目標に感性のこもった歌で勝負することになりました。練習は歌詞の意味を知ることから始まり、伴奏をひき受けてくれた山本さんと、テンポや強弱など限られた時間で精一杯練習しました。のどの調子が悪い日が続き生まれて初めて歌うことにプレッシャーを感じる時もありましたが、そんな時は山本さんにすごく支えられました。そして、あつというまにコンクール当日になりました。

名前が呼ばれステージに立ちました。ライトがあたった瞬間、緊張感は自然に消えていきました。そして前奏が始まり「心をこめて歌おう」私の心の中には、それしかありませんでした。たくさん拍手をもらい私達の番が終わりました。その拍手はとても温かく、「歌えて良かった」私は心からそう思いました。結果は、入選でした。改めてレベルの高さを実感しました。

私は、今回とても良い経験ができ、出場できて本当に良かったと

思います。そして、何よりもHBCコンクルの伴奏もしてくれた山本さん、アドバイスをして下さった先生達に感謝します。私はこれから歌い続けます。みなさんも自分を見つめ直し、秘めている可能性をこれからどんどん発揮していった下さい。

平和への道

三年B組 川田 仁 美

みなさんは、「広島のパカ」という絵本を読んだことがありますか。これは、丸木さんという絵本作家によって書かれたもので、原爆投下当時の広島の様子が描かれています。私は幼稚園の頃にその本を読み、内容も覚えていないのにただ怖かったという記憶だけは残っています。その頃は、本の表紙を見ただけで、「広島」の名前を聞いただけでも怖がっていたように思います。

今回私は、その本に描かれていた街、広島に平和大使として行ってきました。広島では平和記念公園に行ったり、被爆者の方の話を聞かせていただいたりしました。

平和記念資料館には、原爆による被害について、写真やパネルはもちろん、爆弾の風圧でまがってしまった鉄の橋げたや被爆者の方々への遺品などたくさんある物がありました。

その中でも特に私の目を引いた物



は、黒い雨の跡が残った壁でした。黒い雨というのは、原爆の爆発後に爆風によって巻き上げられた粉じんや放射性物質を含んだ雨で、その名の通り黒い色をしています。広島は夏真っ盛りに、原爆によって地表温度三千、四千度にまでなった中、たくさんの人々が水を求めて、黒い雨を飲み亡くなったそうです。私も実際に広島は夏の暑さを体験し、原爆が落ちていなくてもここまで暑いのに、原爆が落ちてさらに暑くなった当時、水が飲めないのは考えられないような苦しみだったんだと改めて感じました。

原爆による被害は、黒い雨だけでなく熱線や爆風、高熱火災や放射線などさまざまなものがあります。そしてたくさんの人々が、それによって亡くなりました。それなのに今現在、核兵器を持っている国、持たたいと思っている国がたくさんあります。それも、広島に落とされた原爆とは比べものにならないような高性能で強力なものです。たった一瞬でたくさん大切な物をうばってしまう核兵器を、持って良いわけがありません。核兵器の廃絶は、それぞれの国家にだけ求められているものではありません。国家の政策を軍縮に導いていくには、一人一人の市民が平和を願い、核兵器のない社会を実現しようとする強い意思を持ち、世界中の人々との連帯を強めていくことが必要だと思います。

また、被爆者の方の話は私にとっても衝撃的でした。目の前で友達が死んでしまった話や体の中にガラスの破片が残る、腕の関節が動かなくなってしまった話や母親の話、暑さのため川にとび込みたくさんの人々が亡くなった話など今の私達には想像もつかないような話ばかりでした。被爆者の方々はきっと、思い出すのもつらい話を語り続けるのは大変だと思います。でも、私達の様な戦争を知らない世代のためにも、ぜひこれからも語り続けてほしいと思いました。そして私達も積極的に被爆者の方の話を聞いたり、平和記念資料館などに行つて戦争についてもたくさん知ることを知るべきだ

と思います。

私は戦争を見たわけでも、被害を受けたわけでもありません。でも、だからこそ私達は広島について知り、戦争について考え、平和な世界を受けついでいかなければならないと思います。第二、第三の「広島島のピカ」が絶対に起こらないように。

「出会い」という名の宝物

三年B組 佐々木 ゆい

私にとって初めての海外でした。言葉は伝わらない、生活習慣も違う。見たこともない景色のロシア、そのもの全てに不安を抱いていました。今になって、あんなにも不安がっていた自分はずかしく思います。言葉は伝わらなくても心は通じる、生活習慣が違ったらそれになれればいい、見たことない景色を見るのはあたりまえ。自分を受け入れてくれる人がいれば大丈夫だということが、この派遣で実感することができました。

九月十九日、ユジノサハリンスクへ。初めてつく他国の地、そして自分の周りにはロシア人がいる。私はとてもドキドキしていました。これから八日間お世話になるホストファミリーの事を考えながら市役所へ向かいました。

ホストファミリーとの対面。まだ心の準備ができていない私が一番最初に呼ばれ、ビックリしていた私の手を取り、ホストファミリーのクリスティーナは笑顔で家族の所へ連れていってくれました。その笑顔は私の緊張をほぐしてくれました。

全員が対面を終え、各家庭へ。日本人一人という状況に不安が込み上げたが、ホストファミリーはとても優しく私に接してくれたの

でホッとしました。それに、海外での一番の壁と思われていた言葉は、ロシア語以外にも英語を話せたので少しの会話ならすることができ、とても嬉しかったです。海外派遣初日は、無事終わりました。

二日目から五日目までは、学校訪問や市内視察などでした。学校ではロシアの生徒が歌や踊りを披露しました。その上手さに感心しました。私達とはというと、歌やよさこい、それから自分の特技などを披露しました。五校訪問した中で一番印象に残ったのは、「エトノス」という学校です。生徒達は楽しそうに歌い、踊る姿もとても印象的でした。

六日目からは、終日ホストファミリーと交流。タタール海峡へ行きました。そこは青空が海面に写り、海に模様があるようなそんな綺麗な所で、その光景が目には焼き付いています。他にも色々な所へ連れていってくれ、たくさんさんの素敵な思い出ができました。別れの日はとても悲しく、自然と涙がこぼれました。「また会おうね。」と言って家族と別れました。帰りのバスの中でも泣いていたことを覚えています。別れてこんなにつらいことなのだと思います。

この七泊八日の派遣は私にとって、たくさんさんのことを学ぶことができた最高の機会でした。また、この派遣を通して、派遣団の仲間達、ホストファミリー、その他のユジノサハリンスクの方々、数々の人に出会えたこと、それが思い出となり、私の一生の大きな宝物となりました。参加して良かったと、心から思っています。この経験を生かし、今度は「出会い」を大切に、人生を歩んでいきたいと思っています。



文苑



ひとりの力

三年 川田 仁 美

みなさん、人と人との結びつきをととても大切に感じたことがありますか。そして、一つ一つの出会いを大切にしていますか。この二つのことは、私はとても重要なことだと思います。

私はこの夏、平和大使として広島に行き、たくさんの人々と出会いました。青少年プログラムというものの案内をしてくれた長崎の大学の学生の人たち、広島焼きの歴史を教えてくださいましたお好み焼き屋の店長さん。引率してくださった市役所の方と先生、そして一緒にいろいろなところをまわった大使の二人。

私はすぐに人と仲良くなれるタイプではないので、初めは仲良くなれるか不安でした。でも、皆私に話しかけてくれたり、いろいろ

なことを教えてくれたので、とても楽しい時間を過ごすことができました。そしてどんなに小さく、どんなに短くとも、人との出会いは自分の世界を広げてくれるもののだと知りました。

平和大使として訪れた平和記念公園には、原爆ドームや資料館など、戦争の悲惨さを伝えるものが数多くありました。これらの物は、多くの人々が保存を望んだり、作ることを願わなければならないのではない物だと思います。

たった一人で「戦争反対」と叫んでも、それは何の力にもなりません。でも、人と人が結びつき、たくさんの人々が「戦争反対」と叫ぶことで、大きな力が生まれるのだと感じさせられました。よく、1+1は3にも4にもなると言いますが、それは本当なのかと思いました。

これから私たちは長い人生を生きていきます。きつと、辛いことも悲しいこともあるでしょう。でも、そんなときこそ絆や出会いを大切にし、もつと強い自分になって生きていければいいと思います。

（私の主張）金貨

絆の意味

三年 西崎 裕 介

絆とは、どのようなときに、どのような意味で使う言葉だと思いますか。「親子の絆」、「兄弟姉妹の絆」など一般的に血のつながりがある場合に、「絆」が多く使われているようです。このことから、一番身近にある「絆」それはおそらく「家族の絆」でしょう。そう、お互いの信頼の上に成り立ち、どんなときでも断ち切ることはできない、また、断ち切ってはならない関係ではないかと思っています。

しかし、社会を構成している最小の単位である「家庭」の中で、家族が家族の命を奪う、そんな事件が、日常茶飯事のように起きています。「絆」ところか、家庭の存在そのものが、危ぶまれているような気がします。

社会の基盤が「家庭」であるならば、人間関係の築き方を学ぶのは、「家族」なのではないでしょうか。お互いの立場や考えを理解し合うこと、痛みや悲しみ、喜びを分かち合うこと、その中から、断ちがたいつながり「絆」が生まれ育つのだと思います。

でも、もし「絆」を作る方法を知らなかったとしたら、それを学ぶ機会を与えられな

かったとしたら、そして、「絆」の意味さえ知らなかったとしたら、どうなるのでしょうか。

今回「絆」の意味を探るうちに、今自分がおかれている環境を改めて考えることができたように思います。これから生きていく中で、どれだけ断ちがたいつながりを作っているのか、わからないけれど、本当に大切なものを見失うことのないように、また、中学校生活最後の年に「絆」の意味を考えたことを忘れないでいきたいです。

〔私の主張〕銀賞

親と子の絆

三年 中 町 勇 貴

夏休みのある日、家でゴロゴロしながらまたまテレビを見ていたら、有名人何人かと女子高生百人ぐらいがいろいろなことについて話し合う番組をやっていたので、何気なくその番組を見ていた。そして、その番組の話し合いの一つで「自分の父親は好きですか？」という質問が出された。

それで女子高生百人ぐらいにYESかNOで聞いたら半分以上が、NOと答えてYESの「父親が好き」と答えた女子高生は少しし

かいなかった。

その結果を見て少しビックリしたが、息子から見た父親と娘から見た父親には違いがあるんだなあと感じた。

それから話は、「なぜ父親が嫌いですか？」という質問になった。それで司会者の有名人が女子高生一人ずつに質問をしていったところ、いろいろな答えが返ってきた。ウザイ、息が臭い、お父さんの次にお風呂に入るとなにかいろいろ浮いていてきたないから、などという答えがあった。中には存在自体が嫌いという女子高生までいた。

その答えを聞いて、その女子高生たちの父親が少しかわいそうに思えた。そして、その答えを聞いていた有名人の人が説教を始めた。内容は「父親があなたたちのために毎日朝早くから仕事に行って取引先の人や偉い人たちに下げたくない頭を下げて頑張っているのにその言い方は何だ。あなたたちにそういう生活ができるのか？あなたたちは父親がいないと生まれなかったんだから、切ろうとしても切れない親子の絆があるんだからもつと大切にしていかなさい。」というようなことだった。

その話を聞いて自分に置き換えて考えてみた。自分の親は二人とも働いている。しかも

父親はほぼ毎日朝早くから仕事に行って毎日夜中に帰ってきて、しばしば土曜日や日曜日にも仕事に行く。多少熱があったり具合が悪くても普通に仕事に行って夜遅く帰ってくる。こういう生活を今自分がやれといわれたら、自分はたぶんできないと思う。だから父はすごいと思う。その女子高生たちは説教を聞いて少し考えていたようなのでよかったと思つた。

自分は父親も母親も嫌いではないが、最近けんかをすることがあるので、これからは父親を少し尊敬して、親や、親との絆を大切に、「大人になったら少しは親孝行したいな」と思った。

〔私の主張〕銅賞

進化を考える

二年 高 木 咲 枝

日本は、ここ数十年で急激な進化をとげた。日本の作るものが世界でもトップクラスに入り、生活も豊かで快適になりました。では、そういった身の回りの変化に比べて、肝心な人間はどこか進化したのでしょうか。一つ一つ比べてしまうと、それぞれが良く

なっていたり悪くなっていたり変わっていか
かったり……。と様々で、一言では言えませ
ん。しかし、日本人は大切なことの進化が遅
れて、今すぐに変わらなければいけないこ
とがあるのです。たとえば私が今、最も進化
しなければいけないと感じることの中に、「出
会いを大切にする」ということがあります。こ
れは「出会った全ての人との絆を大切にす
る」というのと同じ意味です。去年、中学生
の男子が、幼児を立体駐車場の上から突き落
として殺した事件がありました。このとき、
被害者になった男の子は彼に何か嫌なことを
していたわけではありません。全くの知り合
いでもありません。ただ偶然、彼の一番悪い
ときに彼と出会ってしまっただけなのです。
殺される理由など、もちろん一つもなかった
のです。

もし、なくなった男の子があんな事件にあ
わずに、大人になって医学で歴史に残るほど
の大発見をし、世界中の病気で死んでしま
いそうだった人々を救うはずの人生だったと
したら、それで助けるはずだった人の命まで彼
は奪ったことになるのです。つまり人を殺し
てしまうということは、その人に関わる全
ての人の運命まで、左右してしまうというこ
となのです。男子学生は、男の子との出会いを

大切にできずに、とんでもない罪を背負って
しまいました。もう、こんなことを繰り返さ
ないために、私達は「出会いを大切にす
る」ということをもつと深く考えるべきです。そ
して運命があつて出会い、たくさん
の絆が生まれ、それは必ず自分の力や支えになること
を、忘れてはいけません。

日本にはまだまだ悪いところがあります。
全てとは言いませんが、思い当たる大きな
ところはいくつかあるのです。そこを直してい
かなくては、私達の国はこの先、どんどん
ゆがんでいってしまうでしょう。そして、最終
的に日本は確実に地に落ちます。絶対にそ
んなことにならないためにも、私達は今の
悪い点を改善し未来につなげていく。そんな
ことができたとき、人は本当の進化をし、と
ても大きな飛躍をすることができるのでは
ないでしょうか。

強い絆

二年 中村 葉津美

〔私の主張〕銀賞

持つて彼女とは、強い絆で結ばれていると
言うことができます。

その彼女とは、私が小さいときに、とて
も仲の良かった友達です。しかし彼女は、交
通事故で亡くなってしまったのです。その子
は明るく元気でいつも笑顔でいました。まだ
小さかった私は、「死」ということを余り理
解することができずに、ただ、「遠くに引越
してしまっただけだ」と、軽く考えていま
した。彼女は、私の家の近所に住んでいた
ので、毎日と言っているほど一緒に遊んで
いました。だから、いなくなってしまうと、
寂しい」という感情はありましたが、また
いつか会えるだろうと思っていたので、も
う絶対会えないから「悲しい」という気持
ちは、どこにもありませんでした。

彼女がいなくなって数ヶ月がたったころ、
その子から来るはずのない手紙が私の家に
届いたのです。私はその時、彼女からの手
紙だと思っていたのですが、しかし、その手
紙を書いて送っていたのは、彼女のお母さん
だったのです。

この手紙のやりとりは、彼女だと思っ
たま、一年ほど続きました。その手紙の
内容はどうと、「引越した先のこと」、「新
しくできた友達のこと」など、本当に
あったことのように

うに、つづられていました。

なぜ、この手紙のやりとりが、一年で終わってしまったのかというと、何度も何度も手紙を送りましたが、全く返事が来なくなっていましたからです。不思議に思い、最後に届いた手紙を読み返して気づいたのは、「さようなら。いきなりいなくなつてごめんね。今まで遊んでくれてありがとう。」と手紙の裏に、どう見ても子供の字じゃなく、大人が書いたような字で書かれていました。

このときやっと、彼女の死を理解することができました。

彼女と過ごした日々は、大切な思い出です。彼女はもう生きてはいませんが、今でも私達は強い絆で結ばれていると私は思っています。

（私の主張）銅貨

「絆」で結ばれた友達

一年 木津谷 奏

「絆」というテーマを見て正直何を言えばいいのかわからないけれど、今から話すことは二つの「絆」の話です。友達の名前は仮にK君とS君とします。

まず僕とK君は幼稚園で出会いました。最初のうちはただの他人で何のかかわりもなかったと思います。なぜならば僕がまだ小さくて幼かったからです。でも何かのきっかけを通していつの間にか仲良くなっていました。幼稚園にいるときには、何をやるにしてもずっと一緒に遊べました。幼稚園が終わってから、毎日のように遊びました。

時には公園で昼食をとったりもしました。K君とは小学校が離れて中学校も離れましたが、小学校の時には泊まりにも行きました。その時にはお互いの学校生活などについて話し合いました。学校が違って会えなかったけど二人の仲は変わらず、話もずっと絶えることがありませんでした。それは信じ合えていたからです。

もう一人の友、S君。S君とは小学校三年の時に会いました。きっかけがゲームというのがドラマチックではないけれど、その人とは急激に仲良くなりました。五年生の時クラスが分かれましたが、僕たちの仲は変わりませんでした。冬休みに公園で雪だるまを二人で作って大きいのができたときはすごい達成感がありました。今は親友といえるようになりました。S君は私立の中学校を受けて合格したそうです。影ながら努力をしていたS

君に正直驚いたけれど、心からすごいやつだと思いました。今はなかなか会えないけど、たまに会った時は僕の話を実剣に聞いてくれて僕の心の支えとなります。

S君やK君との仲が、今まで長く続けられたのは、それはS君、K君と僕が、深い「絆」で結ばれていたからだと思っています。生まれるのが、一年、二年、後や先だったから、S君やK君と会えなかったと思うと、僕は、「絆」とはすごく不思議だと思いました。

（私の主張）銀貨

友達との絆

一年 小野 彩花

友達とはどのような存在だと思いますか？私は空気や水のように大切な存在だと思います。

なぜかというところ、友達がいないと一人だけで寂しいからです。皆さんは、友達がいないでも毎日楽しいですか。たぶん、私はがまんできないと思います。しかし、これは、たくさんの友達がいるからこそ思うのかもかもしれません。もし最初から友達がなかったらどうですか？たとえ友達という存在を知らな

くてもやっぱり寂しいと思います。

今の私達にはたくさんの友達があります。そして、その友達一人ひとりと「絆」でつながっているのです。私の仲良しの友達は今、札幌にいます。私は三年生の時に函館に引越してきたので、それからは離ればなれになつてしまい、なかなか遊んだりすることはできなくなりました。そして、中学生になると、夏休みも部活や宿題があつて、ほとんど会えなくなつてしまい、今は電話で声を聞くことしかできません。それは悲しいことですが、私達には「絆」があるのです。皆さんにはそのような「絆」がありますか？大切な絆がないという人はいないと思います。なぜなら、皆さんにはたくさんの友達がいるからです。その中の友達と大切な「絆」があると思います。友達は一生、人生で必ずいる存在です。そして「絆」はもつと身近にあります。それを自分の手でこわさないように努力し、大切にしていき、友達に思いやりをもつた人になりたいです。なぜなら、思いやりをもつた人たちなら、友達を傷つけたり、嫌われることはないからです。私は「絆」でつながっている友達を失いたくありません。思いやりをもつた人に近づけるようになります。ずっと友達を大切にしていきたいし「絆」も大切に

していきたいです。「絆」は一生の宝物です。

〔私の主張〕銅賞



短歌・俳句・川柳（三年）

春の陽の 新たな気持ち 我決意

中江 麻里

春近し 希望の光りへ あと一步

高橋 佳也

雪野原 ウサギとだるまが かくれんぼ

中谷 詩世

桜花 出会いと別れ 思い出す

工藤 純一

初詣 合格絵馬に 願い込め

金 尚人

冬の空 両手の中に 雪の華

佐々木 麻美

粉雪が 私の心に 降り積もる

中村 逸香

冬休み 気づいてみれば 始業式

桜庭 智絵

清明を 告げて咲く 桜の花

斉藤 朱夏

白銀の 景色変われば 旅立つ日

木村 早希

陽差して 無音の中の 雪花かな

川田 仁美

雪溶けて 風が吹いたら 春景色

田原 明日美

ボロ校舎 体で感じる 季節感

気仙 友美

桜咲く 春の訪れ 入学式

林 愛美

黒十白 グレーが育って 雨が降る

藤田 春菜

新春に 期待を胸に また一步

前川 裕一

宝物 友と過ごした この日々が

平野 ちひろ

降り続く 雪は気づくと やんでいる

松岡 由希子

冬になり もちをもちもち

金べるなり
伊藤 孝明

初詣 今年こそはおみくじを
こわごわ開けば大吉ハッピー

相田 玲歌

卒業はグールじゃなくて一休み
しばらくしたらまたまた走り出す

加藤 麻里

お正月いつでも続くといけれど
あつという間に今年五ゼロ

筆村 崇充

星空に粉雪まじりて降りそそぐ

皆の思い詰め明日へ向かって

佐々木 恭兵

緑色の妖精探す幼子の

瞳に映る花の楽園

土屋 悠乃

どこまでも続く道のり歩き出す

先は見えぬがそれが楽しい

遠藤 由紀子

キラキラと輝く雪の美しさ

寒さを忘れしばし見とれる

岩井 ひかる

雪とけて春の陽浴びて顔を出す

土の中から小さなつくし

和泉 千尋



短歌（二年）

雪が舞い手もかじかんで寒いけど友とかわす言葉はばかばか

細貝 友春

春は緑夏は海青し秋は紅冬の白から四季の色どり

小笠原久恵

雪が降り外にたくさん雪積もるはしゃいで遊ぶ小さい子供

千葉 翔太

寒い朝ストーブ前に肩並べその時思う家族のぬくもり

尾見 達奈

降り続く雪の強さにひるみつ下をよく見ず足を滑らす

山形 匠

雪景色とけた所に春の顔花のつぼみも顔を出す

中村茉津美

春が来て一年間を振り返り思い出すほどさみしくなるな

瀬川 彩奈

雪の朝歩いて行くのはつらいけど学校行けば友との笑顔

八木橋友梨名

新年の朝にさしこむ日の光今年こそはと毎年思う

高木 咲枝

気がつけばいつも隣で笑顔でね支えてくれる君色想い

吉田早公子

冬終わり雪解けの時春がきて芽吹きの時旅立ちの時

渡辺 清香

雪積もりその日は一面銀世界自分が一番に足あとつける

磯部 楓

ゆつくりと流れる時間に身をまかせのんびり過ごす冬の毎日

筆村 矜沙

コンクール失敗したけど悔いはない心に残る銀賞でした！

門傳 雪菜

冬になり外の景色も真つ白に木々の枝にも雪錦積もる

今野 敬斗

雨上がりふと空見れば虹架かり心の中にも同じ虹架かる

福島 華奈

冬休み雪が降っては雪遊び寒さに負けぬ元気な子供

村川 裕

冬休み明日明日と宿題せず最後にあせる私の姿

荒野 梨沙

友達と泣いて笑って語り合い今この時間を大事にしたい

有本 晴香

もう少し雪が溶ければ暖かい春の訪れ待ちどうしいな

岡部 優大

雪の中せつせつとつくる雪だるまほうは赤色冬の外

佐藤 美咲

雪積もり外に走るは子供達たくさん夢雪につめてる

小野寺桃花

秋終わり木の葉が全部落ちた時ふと外見れば白銀世界

藤原 愛理

川柳(一年)

テスト前 足取り重く 学校へ

工藤 有史

タマネギは 炒めておいしい 当たり前

高坂 将史

頼みごと 今度と言って またのびる

佐々木雄亮

朝ご飯 時間がなくて 少しだけ

包 頼空

テスト前 勉強しても 変わらない

渡部 里美

もうイヤだ 私はテストを 拒絶する

田賀 茜

四時間目 頭の中は 給食だ

林 奈実

テスト後に 家に帰ると 母怒る

高橋 靖貴

あと五分 起きたときには もう遅刻

大塚 亮真

母怒る 持っているのは 解答题紙

大川 冴菜

時間割 そろえたつもりが 忘れ物

武井 翼

イチヨウの木 風に吹かれて

丸裸 野呂香奈実

ざあざあ降りて ぬれて帰ると 雨やんだ

市川 裕馬

宿題を 忘れてくると あてられる

川島 優樹

朝起きて 寒くて出れず 二度寝する

成田みづき

参観日 母さん来ると 駄ずかしい

吉田 康彦

高級な 料理を食べると 腹下す

田中 遼馬

寝起き時は 自分が誰だか わからない

葛西 里映

スキーでは 転び転がり 雪だるま

山城 夏姫

浴びる雪 電柱さえも 灯火に

堀川真紀子

勉強は 面倒くさいよ でもやるよ

野島 友春

母さんの 「勉強しなさい」 やな感じ

佐藤 條祐

風呂入り 一息つく と 夢の中

荒田 大知

友達と いつもふざけて 怒られる

相馬 達也

かくれんぼ みつけてもらえず 出てきてる

桜庭 麻衣

数学が 世にあることが 不愉快だ

白濱 浩太

怒る母 電話が鳴ると 声変わる

福田 悠美

水浴びて そのままでいて 風邪をひく

藤田 和也

日を浴びて ばかばかあったか 冬の空

村川 開奏

最後には 正義が勝つと 決まってる

木津谷 奏

ああいやだ 足どり重い 月曜日

森藤 貴洋

順番が 自分の前で 終わり出す

鈴木 翔太

雨の日は 泥水浴びるよ 車から

伊藤 洋道

雨降れば 中で筋トレ 疲れるな

稲葉 翔也

楽しいな ほぼ毎日の 部活動

山内 淳

川柳を 書けと言われて 困ったな

小田 裕介

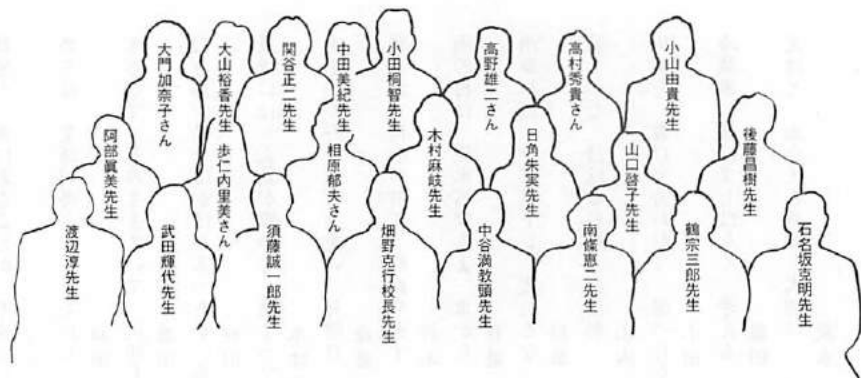
冷蔵庫 開けてしばらく 考える

藤田 明穂

友達と 出会えた奇跡 大切に

坂本 磨美

平成17年度 五稜中学校教職員



編集後記

三年B組 相田玲歌

皆さん、今年の生徒会誌「五稜」はいかがでしたか。今皆さんの手元にある、この「五稜」には、皆さんの様々な思いや一年間の思い出が詰まっています。そして、この「五稜」を作ったのは、編集委員だけではなく五稜中の全校生徒だということを決して忘れないでほしいです。

これから三年生は、人生最初の壁とも言える「受験」を乗り越え、一人一人が新たな道へと歩み始めます。一年生は最高学年となり、五稜中の顔として今以上に頑張っていかなければなりません。一年生は新入生の手本となるよう、自覚と自分のとった行動への責任を、二年生として持たなければなりません。きつと何度も困難に出会い、立ち止まってしまうことも沢山あると思います。そんな時はこの「五稜」を見て、楽しかった思い出を振り返り、その答えを導きだして下さい。きつと力になってくれるはずですよ。

今年の生徒会誌「五稜」の制作に協力して下さった先生方や生徒の皆さん、ありがとうございました。この「五稜」が今後の生徒への「足跡」になってくれれば幸いです。



編集委員

△三年▽

工藤純一
佐々木康平
名平忠伸
干場亮佑
相田玲歌
岩井ひかる
佐々木ゆい
林愛美

△二年▽

磯部楓
木佐大志
玉川信也
村川裕
高木咲枝
八木橋友梨名
吉村舞子
△一年▽
伊藤綾香
田原優美
山城夏姫

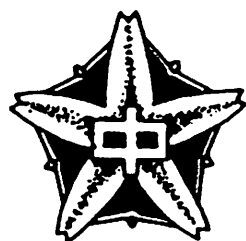
平成十七年度生徒会誌

「五稜」 第45号

発行日 平成十八年三月十五日

発行 函館市立五稜中学校生徒会
印刷 有限会社 共立印刷

函館市吉川町六番六号
電話〇二三八四三一七六五〇



函館市立五稜中学校生徒会